



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	現代日本の「貧困観」に関するアンケート結果中間報告
Author(s)	青木, 紀; Aoki, Osamu
Citation	教育福祉研究, 12, 71-122
Issue Date	2006-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/28390
Type	departmental bulletin paper
File Information	12_P71-122.pdf



現代日本の「貧困観」に関するアンケート結果中間報告

青木 紀

1. アンケートの目的

『本誌』第11号(2005年)の拙稿「現代日本の『貧困観』に関する研究準備ノート」において、次のように述べた。われわれの関心は、貧困という現実とそのことにどう対応するかという政策論議との、いわば間(あいだ)に位置する、あるいは両者を媒介するような領域にある、人々が貧困現象や貧困層あるいは生活保護制度そのものをどのように受け止めているか、といった現実にある。いいかえれば、貧困現象を統計やフィールドワークによってDEBUNKING(正体を暴露する、仮面をはぐ、嘘を暴くといった意味)することも一つの課題だが、貧困現象を人々がどのように意識、認識、知覚、表象しているか。このことを明らかにするのも、現状分析のもう一つの任務として位置づけたい。その背後には、知識社会学的な課題として、アカデミズムの世界における貧困概念の論争や政策決定の世界における貧困という言葉を使用した論議と、それ以外のジャーナリズムや世間一般の日常世界の貧乏という言葉との間に横たわる、その多様な使い方をめぐるギャップの存在がある。そこには埋めがたいような距離が横たわっている。

さらに具体的には、アンケート調査という手法を使った場合、貧困観調査は、調査対象者の年齢と時間的経験、そしてグローバリゼーション・情報化社会における空間的経験、あるいは教育経験(程度)・職業(階級・階層)などが大きな意味を持つてくることが予測される。すなわち、われわれの貧困に関する情報は、たとえ表層的なものであれ、もはや国際的空間の中で意識される構造にある。しかもそれは、時間軸とともに変化してい

る。とくに日本におけるバブル崩壊以降の貧困という言葉の量的増加は、それが国民の貧困認識をどれだけ豊かにしたかは別にして、人々にいかなる影響をあたえているかが注目される。

以下は、2004年～2005年にかけて(大半は2005年)行ったアンケート調査の結果の単純集計を紹介するために、資料として本誌に掲載しておくものである。そのことに先立って、いくつかのコメントを述べておきたい。

なおこの調査は、文部科学省科学研究費・基盤B(1)「現代日本の貧困観に関する実証的研究—アメリカにおける研究動向との対比の中で—」(2004-2007年)の一部である。

2. アンケート単純集計に関するメモ

上記のテーマにもあるように、この調査研究はアメリカにおける研究動向との関連で課題を設定しているという側面もある。したがって、関連していえば、本号に同時に掲載されている塙朋子「アメリカ人の価値観と貧困観に関する世論データ分析の紹介」(Achieving the American Dream: A Meta-Analysis of Public Opinion Concerning Poverty, Upward Mobility, and Related Issues)を念頭におきながら、以下のコメントをすることになる。

なお、このアンケートはトライアルとして始めたこともあり、アンケートの対象によって大きく2種類のアンケート設問が用意され、以下では、①A調査(主として大学生だが地域住民も含む)、②B調査(専門学校学生)、③C調査(民生委員など福祉関係者)として紹介していることから、文中においてもそのように使う。さらに、このようなアンケートの回答は、対象者の持つ知識や経験

によって、あるいは所属階層や年齢層によって大きく影響を受けると予測されることから、ここでもう少し詳しく触れておくと以下のようである。

A 調査

A短大：北海道・短大。1・2年生対象の生活福祉論受講者。1年生が大半。2005年4月21日実施。

B大学：北海道・4年制大学。主に1年生対象の社会福祉論受講者。2005年4月実施（2回目の講義）。

C大学：北海道・4年制大学。2年生対象の公的扶助論受講者。2005年4月14日（1回目）実施。

D大学：東京・4年制大学。1・2年生対象の公的扶助論受講者。2005年10月（1回目）実施。

E大学：東京・4年制大学。1・2年生対象の公的扶助論受講者。一部3年生を含む。2005年10月17日（1回目）実施。

F大学：北海道・4年制大学。2・3年生対象の教育福祉論受講者。一部4年生を含む。2005年10月3日（1回目）実施。

M町住民：北海道M町A地区で実施。配布数（273）回収数（138）。2004年9月実施。

B 調査

専門学校G：北海道・保育士養成専門学校。1年生対象の養護内容。2004年11月頃実施。

専門学校H：北海道・保育士養成専門学校。3年生対象の養護内容受講者。2004年後期集中（1回目）。

専門学校I：北海道・看護学校。2年生対象の社会学受講者。2004年後期（1回目）実施。

C 調査

民生委員（東京・Y地区）：新任民生委員研修受講者。2004年12月22日、2005年9月12日実施。

民生委員（東京・S地区）：新任民生委員研修受講者。2005年1月20日、2005年2月14日実施。

民生委員（東京・T地区）：新任民生委員研修受

講者。2005年3月17日、2005年9月22日実施。

民生委員・社協職員（北海道）：社会福祉協議会主催の研修会参加者。2004年8月実施。

児相関係職員（北海道）：児童福祉関係研修会参加者。2005年2月実施。

司法書士（北海道）：司法書士会主催の研修会（生活保護とホームレス問題に関する講義）の開始前。2004年9月29日実施。

以上に加えて、さらに留意しておきたいのは、学生とその他、とくに福祉関係者（民生委員など）とは大きな年齢差があることである。

(1) 「貧困」という言葉は日常用語として定着していない

貧困という漢字は古くからあったのだが、政策用語として使われるのは、歴史的には1930年代頃からであり、その点からする「貧乏」という日常用語との「言葉の二重性」は、なお基本的に存在することが確認された。A調査によれば、『「貧困」という言葉に『違和感』を感じましたか』では、大学生の「感じた」が45.1%しており、M町住民調査では52.9%となっている。このほかに、上記設問に関連して、「何か意見がございましたらご記入下さい」という自由記述の回答でも、貧困の定義の問題や言葉が持つ差別的な意味合いなどにも、「ふだんは使わない言葉なので違和感を持ちました」「しっくりこない」などの意見がかなり見られた。その点で、このアンケート結果は、「言葉の二重性」「二重の言葉」の仮説を裏付けるものであった。

関連していえば、これは「アメリカ人の価値観と貧困観に関する世論データ分析の紹介」の内容や、いわゆるEUROBAROMETERによって定期的に意識分析を行っているEU諸国と比較した場合に直感的にいえることだが、POVERTYという言葉を使ってアンケートを行う欧米諸国（この場合は主としてアメリカとの比較になる）のように、この言葉がまったく違和感をもたらさない（であろう）社会と、日本のような「二重の言葉」（貧困と貧乏）を持つ国との異同が、今後このような

研究を進めていく上ではさらに注意を要すると感じられた。すなわち、言葉の日常用語としての定着（アカデミズムや政策用語、統計用語との差異がない）と身近に貧困に接する（それは自らや身近な存在としての貧困体験あるいは貧困にある人々へのボランティア活動による接触、また貧困基準が新聞だけでなくテレビでもニュースで毎年取り上げられるなど）機会がある社会では、「貧困」という言葉も違和感なく日常的にとけ込んでいるかもしれない。同じことは、おそらく最近の流行でもある「排除」についてもいえるかもしれない。しかし、日本では、それらはまだ日常用語としては定着しているとはいえない。

（2）途上国や戦災国あるいは敗戦後の日本の貧困が「貧困」のイメージを代表する

「貧困」という言葉から思い浮かべるイメージは、「テレビや新聞等で知る途上国や戦災国の生活」（A調査大学生 87.3%、M町住民 74.6%、B調査専門学校生 86.1%、C調査福祉関係者 84.6%）、「戦前や敗戦直後に多く見られた日本の生活」（大学生 71.5%、M町住民 71.7%、専門学校生 76.9%、福祉関係者 72.7%）であった。しかし、「ホームレスの人々の生活」（大学生 70.8%、M町住民 34.8%、専門学校生 64.9%、福祉関係者 46.7%）、「生活保護世帯の生活」（大学生 53.5%、M町住民 27.7%、専門学校生 37.0%、福祉関係者 36.3%）では、大学生や専門学校生とそれ以外とはかなりの差異が見られた。とくに、大学生や専門学校生では「貧困」＝「ホームレスの人々」のイメージは高いが、そのほかでは50%を越えない。「生活保護世帯の生活」でも似たような傾向があるが、全体として数値は下がる。つまり、国内の貧困の現実に対しては、社会経験や年齢などによってかなりの影響を受けており、社会人の方が「貧困」とは認識していない傾向が強い。また「政治家や国民の精神的な意味での貧しさ」のようなメタファーとしての意味はかなりの人が想像していた。しかし「過去あるいは自分自身の生活」ではM町住民（16.7%）が大学生（6.0%）を3倍ほど上回っているものの全体として低い。

いずれにしても、表象として人々が持つ貧困観は多様だが、その中に圧倒的な強さを持って迫っているのは、メディアが日々伝える途上国や戦災国などの貧困あるいはかつての貧困であって、その点では年齢に関係なく一致している。しかし、国内における具体的な「貧困状態」をめぐるのは、そのイメージを浮かべる人々と、浮かべない人々とに分化していることがわかる。

（3）「ホームレスの人々」や「生活保護受給者」は必ずしも貧困とは判断されていない。しかし、身近な貧困はそれなりには認識されている

「以下のような状態にある場合『貧困にある』『貧困の中におかれている』と思うか」では、たとえば、「ホームレスとして路上生活をしている」では、A調査（大学生）では多く（65.5%）が「はい」とし、B調査（専門学校生）もかなり高い（63.3%）。しかし、M町住民では「はい」（29.0%）と「いいえ」（40.6%）であり、「いいえ」の方が高い。また北海道の民生委員・社会福祉協議会職員も「いいえ」が50.6%を占めている。東京の初任者研修における民生委員では「はい」と「いいえ」が35%前後で拮抗している。このことは、ホームレスとして路上生活をしている人々についても、観念的あるいは「何となく」持つイメージとして判断している場合と、実際に「見る」「知る」という経験や一般的な社会経験の有無、あるいは知識などがかなりの影響を与えていると見ることができる。だが、ホームレスのような状態にあっても（そして新聞等がかなりその悲惨さを伝えていたとしても）、そのことを社会人アンケート対象者のかなりの割合が、必ずしも「貧困にある」とは判断していないことは見ておくべきである。

さらに「生活保護を受給して生活している」では、全体として「いいえ」がさらに高くなっている。大学生では「はい」が51.8%、「いいえ」が37.7%となっている。専門学校生ではそれぞれ31.7%、56.2%となっており、「いいえ」が高くなっている。また、M町住民では「はい」が20.3%、「いいえ」が52.2%、福祉関係者でも「はい」が

28.5%「いいえ」が48.2%となっている。大学生を除いては、いずれも「いいえ」の方が高く、生活保護受給を余儀なくされている生活は、半分以上の人々が「貧困にある」とは捉えていないことがわかる。生活保護を受給するのは、貧困基準を「満たしている」ことが条件なので、受給すれば「貧困にはない」ともいえるが、また実際、どれだけの人々が「生活保護受給世帯」と接触があるかはわからないが、「貧困」のイメージが先に見たところにおかれているとすれば、この数値は当然ともいえなくはない。また、受給資格があってもあるいはそれほど変わらない現実の生活水準にあっても、多くの人々が受給はしていないということの人々（対象者）が判断基準にしていれば、ある程度理解できないことはない。フィールドワークからたいい受けるわれわれの印象やメディアの伝える印象からしても、そこには大きなギャップがあると考えるをえないが、やはりこのような数字の結果は直視しておく必要がある。

なお関連して、これはA調査だけだが、「あなたあるいはあなたの家族が『貧困にある』と考えますか」では、学生の85.2%、M町住民の70.1%が「いいえ」と回答している。また、「あなたの身近なところに『貧困にある人々』と思われる方はいますか」（A調査）、「身近なところに『貧困の中にある』『貧困の中におかれている』と思われる人々はいますか」（B調査、C調査）では、A調査の「多くいる」「多少いる」の計で学生は10.8%、M町住民は26.1%、「多い」「かなり」「多少」の計（B、C調査）では、専門学校生で20.9%、福祉関係者で29.1%となっている。「貧困にある人々」の存在認識は、福祉関係者が大学生の3倍の数値となっていることが注目される。つまり、社会経験のある人々の間では、知識や観念ではなく、それなりに貧困の存在が意識されているともいえる。

（4）貧困認識ではいわゆる「絶対的貧困観」に近い考え方が支配的である

「現代の日本社会で生きることを前提に考えて、以下の状況に対して、あなたはどのように思いますか」（A調査）、「現代の日本の社会で『貧困とはいかな

る状態のこと』をいうのか」（B、C調査）について見る。この質問で「貧困である」という回答が30%を越えているのは、「水道や電気及びガスが使用できない」（学生60.9%、M町住民46.4%、専門学校生39.5%、福祉関係者45.9%）、「住宅に暖房設備がない」（A調査のみ、学生30.1%、M町住民45.7%）、「緊急時に必要な最低限の貯蓄もない」（学生42.0%、M町住民36.2%、専門学校生34.9%、福祉関係者34.2%）、「健康的な食生活ができていない」（学生44.7%、M町住民28.3%、専門学校生44.0%、福祉関係者23.1%）、「医療機関に必要なときにかかれぬ」（学生80.8%、M町住民59.4%、専門学校生70.5%、福祉関係者62.6%）、「社会福祉サービスを必要なときに受けられない」（学生53.7%、M町住民30.4%、専門学校生41.6%、福祉関係者30.1%）、となっている。

逆に「必ずしも貧困とはいえない」という回答では、たとえば「住宅に冷暖房設備がない」（C調査のみ76.4%）、「水洗トイレがない」（C調査のみ85.7%）、「住宅にお風呂がない」（A調査のみ、学生71.9%、M町住民71.7%）、「住宅に夫婦の寝室がない」（A調査のみ、学生92.4%、M町住民72.7%）、「住宅に個々人の部屋がない」（C調査のみ93.7%）、「家族に利用できる車がない」（学生92.6%、福祉関係者94.4%）、「1年に1度のレジャーや旅行もできないほど金銭的余裕がない」（学生79.8%、福祉関係者95.2%）、「読み書きに不自由がある」（学生56.8%、福祉関係者63.4%）、「安定した仕事を持っていない」（学生73.5%、福祉関係者78.6%）、「友人や家族と外出を楽しむ機会がない」（学生81.1%、福祉関係者78.3%）、「他者や社会に認められていない」（学生72.9%、福祉関係者59.1%）、「社会あるいは地域とほとんどつながりががない」（学生74.5%、福祉関係者61.1%）、などとなっている。

つまり、以上から見えてくるのは、A調査やC調査で多少の違いはあるものの（学生の方が福祉関係者より「貧困」のとらえ方の相対度がやや高い）、全体として、いわゆる「絶対的貧困観」が圧倒的に支配している現状である。ただこの場合、

もしも「健康で文化的な生活」「社会的必需品項目」のような形で設問をおけば、変わりうる可能性はあると推測される。このことは、A調査のみであるが、「あなた自身及びあなたの家族が下記の条件を満たしているかどうか」で、上記の内容を改めて尋ねている結果を見るとよくわかる。すなわち、その結果はほとんど「満たしている」と回答がなされていることからすると、人々が持つ「貧困」という言葉からたずねた「貧困観」と、現実のアンケート対象者の日常生活とは、ほとんど関連が意識されないような大きな差が横たわっているのである。いわゆる「相対的貧困」という考え方は、アカデミズムの世界や授業の中だけの世界、あるいは生活保護基準にも実際には反映しているものの、人々の日常生活に言葉（概念）としては欠落している、定着していない。

(5) 貧困は「社会的要因」と「個人的要因」の両者で理解されている

A調査では「現代社会においてなぜ人々が『貧困におちいるか』（要因）について、下記の理由についてあなたはどのように思いますか」となっており、このうち「強く思う」と「思う」の計が50%越えているのは、「社会福祉予算などが少ないことによる」（学生64.5%、M町住民51.4%）、「社会の助け合いの意識の不足による」（学生68.4%、M町住民43.5%）、「解雇や長期失業による」（学生85.6%、M町住民73.9%）、「地域の産業の衰退による」（学生80.6%、M町住民63.8%）、「先のことを考えない生活を送ることによる」（学生62.5%、M町住民58.7%）、「努力や頑張りの不足から」（学生49.0%、M町住民51.4%）となっている。ここでは、いくぶん学生の「社会的要因」の相対的な強さが特徴であるともいえる。

B調査及びC調査の一部では「なぜ人々が『貧困におちいるのか』、あるいは『貧困の中におかれるのか』」に対して、「はい」「いいえ」で答えるようになっているが、このうち「はい」が20%を越えているのを挙げてみると、「社会福祉予算の削減」（B調査23.8%、C調査の一部25.5%、以下同じ）、「大きな病気やけがの不運」（C調査の一部

のみ25.5%）、「家族の絆の弱体化や家族の解体」（27.0%、31.6%）、「親の貧困の子どもへの影響・親から受け継ぐものがない」（35.6%、22.8%）、「社会の共同精神の欠如・社会の助け合いの意識の不足」（B調査のみ20.6%）、「不況による解雇や長期失業」（62.6%、47.6%）、「地域社会の衰退や環境悪化」（35.6%、20.4%）、「将来の計画を立てないような生活」（21.4%、23.5%）「努力や頑張りの不足」（B調査のみ27.9%）となっている。ここでは、多少北海道の民生委員・社協職員の「個人的要因」の強さが見られるが大きな差ではない。

C調査の「なぜ人々が『貧困におちいる』のか、あるいは『貧困の中におかれる』のか。もっとも重要だと思うものを3つだけ選んでください」に対して、ここでは5%を越えている項目だけを挙げてみると、「社会福祉予算の削減」（5.8%）、「隣近所の無関心の増加」（7.1%）、「大きな病気やけがの不運」（10.3%）、「家族の絆の弱体化や家族の解体」（12.1%）、「親の貧困の子どもへの影響」（7.7%）、「社会の共同精神の欠如」（6.3%）、「不況による解雇や長期失業」（19.2%）、「地域社会の衰退や環境悪化」（8.1%）、「将来の計画を立てないような生活」（6.6%）、「努力や頑張りの不足」（7.4%）となっている。この設問では3つを選択することになっているので、数値の表れ方は異なっているが、傾向としては上記と同じである。

貧困観はしばしば、教科書などでは「個人（主観）的貧困観」と「社会的貧困観」とに区分されて説明されるが、現実には単純に分けられない場合もあることの反映でもあろう。

(6) 日本の貧困観（要因別に見た）は社会民主主義国や旧社会主義国に近い

掲載した表はこのアンケート結果とヨーロッパ諸国の貧困観を便宜的に比較したものである。まず今回の日本のアンケートでは、全体として大学生・専門学校生が貧困を「社会的要因」と関連させて捉える傾向が相対的に強いのにに対して、社会福祉関係者やM町住民が相対的に「個人的要因」と関連させて捉える傾向が強く出ている。このあたりは、これまでみてきたように、年齢や社会経

貧困の原因に関する認識の国際比較

(単位：%)

26

	その人たちが不運であり続けたから	その人たちの頑張りが足らなかったから	個人的要因		社会にたくさんのお不平があるから	経済発展にともなう避けられない現象だから	社会的要因		無回答	わからない	個人的要因(修正)		社会的要因(修正)	
	A	B	A+B	C	D	E	D+E	F	G	H	C+H	I	F+H	J
大学生	5.2	9	14.2	55.7	28.8	84.5	1.4	—	—	—	—	—	—	—
専門学校生	4.6	9.3	13.9	60.5	23.1	83.6	2.5	—	—	—	—	—	—	—
福祉関係者	7.5	17.8	25.3	48.5	21.5	70.0	4.9	—	—	—	—	—	—	—
M町住民	5.8	17.4	23.2	50.0	20.3	70.3	6.5	—	—	—	—	—	—	—
合計(日本)	6.4	14.2	20.6	51.9	23.8	75.7	3.7	—	—	—	—	—	—	—
ベルギー	17.9	17.9	35.8	31.2	23.6	54.8	4.4	4.9	40.7	59.7				
デンマーク	27.5	19.3	46.8	12.8	30.6	43.4	6.0	3.8	50.6	47.2				
ドイツ(西)	11.6	17.1	28.7	33.2	25.4	58.6	3.8	8.8	37.5	67.4				
ドイツ(東)	9.8	14.4	24.2	50.1	18.9	69.0	3.6	3.1	27.3	72.1				
ギリシャ	13.7	19.9	33.6	32.9	24.8	57.7	3.7	4.9	38.5	62.6				
イタリア	19.4	15.4	34.8	36.1	15.8	51.9	6.2	7.2	42.0	59.1				
スペイン	24.0	12.4	36.4	35.3	19.4	54.7	3.6	5.4	41.8	60.1				
フランス	16.4	15.6	32.0	39.9	19.1	59.0	5.1	3.9	35.9	62.9				
アイルランド	22.8	17.9	40.7	22.9	19.7	42.6	7.0	9.8	50.5	52.4				
オランダ	23.2	11.9	35.1	19.3	22.5	41.8	14.2	8.8	43.9	50.6				
オーストリア	12.6	22.3	34.9	29.6	24.2	53.8	6.6	4.7	39.6	58.5				
ポルトガル	18.3	29.4	47.7	33.6	10.2	43.8	3.2	5.4	53.1	49.2				
フィンランド	13.4	14.7	28.1	42.5	23.4	65.9	2.4	3.6	31.7	69.5				
スウェーデン	13.1	8.5	21.6	42.0	27.1	69.1	5.2	4.1	25.7	73.2				
イギリス	20.9	22.5	43.4	19.5	22.3	41.8	5.2	9.7	53.1	51.5				
合計(合計)	17.5	17.6	35.1	31.4	21.9	53.3	5.7	5.9	41.0	59.2				

注1) I及びJの数値は、われわれのアンケートでは「わからない」の選択しかなかったこと、Eurobarometerの設問では「Don't Know」が入っていたことから、Hの数値(「わからない」)がすべてC及びFに流れたと仮定した場合の単純な計算値である。

2) 原資料はEurobarometer56.1, Poverty and Social exclusion in Europe(2001)であり、引用はSerge Paugam and Marison Selz. The Perception of Poverty in Europe since the Mid 1970s: Analysis of structural and conjunctual variation (2004)による。<http://www.nuff/ox.ac.uk/projects/ChangeQual/lasmas.asp>。

験あるいは多少なりとも現役の学生として授業の影響などもあるであろう。

国際的に見て注目されるのは、日本はドイツ(とくに東ドイツ)やフィンランド・スウェーデンなど社会民主主義諸国の数値と似ていることである。すなわち、「社会的要因」と関連させて貧困を考える意識が高い。しかし、この背景には、何よりも先にも指摘したように、POVERTYという言葉が社会にとけ込んでいると考えられる国々との差異の問題があるであろう。また、今回のアンケートでは、「貧困」というと途上国や戦災国の貧困が支配的にイメージされても、このようなアンケートへの回答に対して徐々に「貧困」を「深く」考えるような傾向も増してくることも推測される、といったことも想定しなければならないかもしれない。さらに、このアンケートが中核的勤労者や民間企業に勤務するミドルクラスの人々へのアンケートではないことの影響も考えなければならないかもしれない。いずれにしても、なぜこのような傾向が生まれれるかははっきりとしないが、仮にこの結果がそれほど他国の国民とその設問の理解において大きな差がないものであり、それなりに日本人の貧困認識の現状を正しくとらえているとすると、アメリカの貧困観の基盤にある価値観や思想などと比較して、日本の意識変化の展望は、意識的な問題提起を社会にすることにおいて、影響を与えやすいとも言えるかもしれない。

なお「最近の日本社会に関して最も近いのはどれですか」に対しては、「裕福な人々はより裕福に、貧困な人々はより貧困に」という回答を選択した対象者が、A、B、C調査とも50%を上回っている。最近の格差社会論争など関連していえば、これはいち早く傾向を捉えていたといえる。

さらに最後に、一言付け加えておきたい。それ

は先に述べた展望と関わったことでもある、すなわち「今後自国社会の目指すべき方向性として、『貧富の差の少ない社会』が望ましいか、『成果に応じて分配される社会』が望ましいかを選択する質問で、日本では『貧富の少ない社会』と回答する比率が年々減少し続けている。2000年、2001年調査では、調査対象国10か国の中で最低の水準になっており、競争社会、自己責任社会の代名詞とも思われるアメリカより低い。人々の意識の面では、日本人は『中流崩壊』が進んでいるのだ……一方、『平等社会』とは反対の『成果に応じて分配される社会』を求める比率も、日本では増加傾向にある……こうした結果を背景にしてか、今の日本では『能力主義』『出来高払い』……など成果に応じて分配される社会を連想させる言葉が社会をにぎわせているようだ。リストラが進行し、日本の企業の特徴だった『終身雇用』や『年功序列』が有名無実化してきた昨今の日本だが、不利益をこうむる勤労者の抗議活動がなかなか盛り上がりを見受けられる。これは、経営者側が周到な準備を行っていることのほかに、メディアによる教育(というより洗脳)と、日本人の『ものわりのよさ』が影響しているように考えるのは筆者だけだろうか(高橋徹『日本人の価値観・世界ランキング』中央公論新社2003年、5-9頁)としていることからすると、たしかに、展望がことと次第によっては開けるかもしれない、ということである。

- * 以下、生活保護などの評価に関しては、タイムリミットから別途検討することとする。
- * 以下、A調査、B調査、C調査、自由記述の紹介の順で掲載する。

A 調査

表1 「貧困」という言葉を聞いて以下の内容を思い浮かべますか

(単位:人、%)

質問項目	対象	はい	いいえ	無回答	合計
戦前や敗戦直後に多く見られた日本の生活	A短大	74 (77.1)	21 (21.9)	1 (1.0)	96 (100.0)
	B大学	202 (74.3)	65 (23.9)	5 (1.8)	272 (100.0)
	C大学	59 (74.7)	18 (22.8)	2 (2.5)	79 (100.0)
	D大学	108 (70.6)	42 (27.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	143 (67.8)	63 (29.9)	5 (2.4)	211 (100.0)
	F大学	38 (61.3)	23 (37.1)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	624 (71.5)	232 (26.6)	17 (1.9)	873 (100.0)
	M町	99 (71.7)	19 (13.8)	20 (14.5)	138 (100.0)
ホームレスの人々の生活	A短大	81 (84.4)	14 (14.6)	1 (1.0)	96 (100.0)
	B大学	170 (62.5)	94 (34.6)	8 (2.9)	272 (100.0)
	C大学	60 (75.9)	18 (22.8)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	104 (68.0)	46 (30.1)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	155 (73.5)	52 (24.6)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	48 (77.4)	13 (21.0)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	618 (70.8)	237 (27.1)	18 (2.1)	873 (100.0)
	M町	48 (34.8)	55 (39.9)	35 (25.4)	138 (100.0)
生活保護世帯の生活	A短大	55 (57.3)	40 (41.7)	1 (1.0)	96 (100.0)
	B大学	118 (43.4)	147 (54.0)	7 (2.6)	272 (100.0)
	C大学	48 (60.8)	30 (38.0)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	72 (47.1)	78 (51.0)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	117 (55.5)	86 (40.8)	8 (3.8)	211 (100.0)
	F大学	48 (77.4)	13 (21.0)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	458 (52.5)	394 (45.1)	21 (2.4)	873 (100.0)
	M町	38 (27.5)	66 (47.8)	34 (24.6)	138 (100.0)
テレビや新聞等で知る途上国や戦災国の生活	A短大	80 (83.3)	14 (14.6)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	238 (87.5)	27 (9.9)	7 (2.6)	272 (100.0)
	C大学	62 (78.5)	13 (16.5)	4 (5.1)	79 (100.0)
	D大学	135 (88.2)	16 (10.5)	2 (1.3)	153 (100.0)
	E大学	191 (90.5)	17 (8.1)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	56 (90.3)	6 (9.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	762 (87.3)	93 (10.7)	18 (2.1)	873 (100.0)
	M町	103 (74.6)	13 (9.4)	22 (15.9)	138 (100.0)
過去あるいは現在の自分自身の生活	A短大	8 (8.3)	85 (88.5)	3 (3.1)	96 (100.0)
	B大学	13 (4.8)	249 (91.5)	10 (3.7)	272 (100.0)
	C大学	8 (10.1)	67 (84.8)	4 (5.1)	79 (100.0)
	D大学	12 (7.8)	139 (90.8)	2 (1.3)	153 (100.0)
	E大学	6 (2.8)	199 (94.3)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	5 (8.1)	56 (90.3)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	52 (6.0)	795 (91.1)	26 (3.0)	873 (100.0)
	M町	23 (16.7)	82 (59.4)	33 (23.9)	138 (100.0)
政治家や国民の精神的な意味での貧しさ	A短大	13 (13.5)	80 (83.3)	3 (3.1)	96 (100.0)
	B大学	69 (25.4)	192 (70.6)	11 (4.0)	272 (100.0)
	C大学	20 (25.3)	55 (69.6)	4 (5.1)	79 (100.0)
	D大学	42 (27.5)	108 (70.6)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	43 (20.4)	162 (76.8)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	15 (24.2)	46 (74.2)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	202 (23.1)	643 (73.7)	28 (3.2)	873 (100.0)
	M町	48 (34.8)	60 (43.5)	30 (21.7)	138 (100.0)
「清貧の思想」「名もなく貧しく美しく」といった生き方	A短大	1 (1.0)	91 (94.8)	4 (4.2)	96 (100.0)
	B大学	9 (3.3)	250 (91.9)	13 (4.8)	272 (100.0)
	C大学	8 (10.1)	67 (84.8)	4 (5.1)	79 (100.0)
	D大学	4 (2.6)	142 (92.8)	7 (4.6)	153 (100.0)
	E大学	18 (8.5)	185 (87.7)	8 (3.8)	211 (100.0)
	F大学	2 (3.2)	59 (95.2)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	42 (4.8)	794 (91.0)	37 (4.2)	873 (100.0)
	M町	16 (11.6)	86 (62.3)	36 (26.1)	138 (100.0)

表2 あなたは以下のような状況にある場合「貧困にある人々」と考えますか (単位: 人、%)

質問項目	対象	はい	いいえ	わからない	無回答	合計
ホームレスとして路上生活をしている	A短大	75 (78.1)	13 (13.5)	8 (8.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	152 (55.9)	67 (24.6)	53 (19.5)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	53 (67.1)	12 (15.2)	14 (17.7)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	105 (68.6)	29 (19.0)	17 (11.1)	2 (1.3)	153 (100.0)
	E大学	137 (64.9)	40 (19.0)	33 (15.6)	1 (0.5)	211 (100.0)
	F大学	50 (80.6)	9 (14.5)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	572 (65.5)	170 (19.5)	128 (14.7)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	40 (29.0)	56 (40.6)	19 (13.8)	23 (16.7)	138 (100.0)
1年以上失業状態で生活している	A短大	33 (34.4)	41 (42.7)	22 (22.9)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	70 (25.7)	140 (51.5)	62 (22.8)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	21 (26.6)	42 (53.2)	16 (20.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	42 (27.5)	91 (59.5)	20 (13.1)	0 (0.0)	153 (100.0)
	E大学	58 (27.5)	105 (49.8)	46 (21.8)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	19 (30.6)	23 (37.1)	20 (32.3)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	243 (27.8)	442 (50.6)	186 (21.3)	2 (0.2)	873 (100.0)
	M町	43 (31.2)	58 (42.0)	18 (13.0)	19 (13.8)	138 (100.0)
生活保護で生活をしている	A短大	47 (49.0)	37 (38.5)	12 (12.5)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	103 (37.9)	133 (48.9)	35 (12.9)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	53 (67.1)	19 (24.1)	7 (8.9)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	79 (51.6)	61 (39.9)	13 (8.5)	0 (0.0)	153 (100.0)
	E大学	122 (57.8)	69 (32.7)	17 (8.1)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	48 (77.4)	10 (16.1)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	452 (51.8)	329 (37.7)	88 (10.1)	4 (0.5)	873 (100.0)
	M町	28 (20.3)	72 (52.2)	16 (11.6)	22 (15.9)	138 (100.0)
サラ金等からお金を借りて生活している	A短大	49 (51.0)	27 (28.1)	18 (18.8)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	97 (35.7)	130 (47.8)	45 (16.5)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	39 (49.4)	32 (40.5)	7 (8.9)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	66 (43.1)	69 (45.1)	18 (11.8)	0 (0.0)	153 (100.0)
	E大学	85 (40.3)	90 (42.7)	34 (16.1)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	25 (40.3)	24 (38.7)	12 (19.4)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	361 (41.4)	372 (42.6)	134 (15.3)	6 (0.7)	873 (100.0)
	M町	16 (11.6)	73 (52.9)	26 (18.8)	23 (16.7)	138 (100.0)
住宅や車のローンを抱えた生活をしている	A短大	4 (4.2)	87 (90.6)	5 (5.2)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	8 (2.9)	255 (93.8)	9 (3.3)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	6 (7.6)	70 (88.6)	3 (3.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	8 (5.2)	139 (90.8)	6 (3.9)	0 (0.0)	153 (100.0)
	E大学	2 (0.9)	198 (93.8)	9 (4.3)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	3 (4.8)	56 (90.3)	2 (3.2)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	31 (3.6)	805 (92.2)	34 (3.9)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	8 (5.8)	95 (68.8)	11 (8.0)	24 (17.4)	138 (100.0)
生涯の大半を施設で生活している	A短大	12 (12.5)	67 (69.8)	17 (17.7)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	29 (10.7)	193 (71.0)	50 (18.4)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	8 (10.1)	56 (70.9)	14 (17.7)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	26 (17.0)	114 (74.5)	13 (8.5)	0 (0.0)	153 (100.0)
	E大学	22 (10.4)	147 (69.7)	40 (19.0)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	18 (29.0)	33 (53.2)	11 (17.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	115 (13.2)	610 (69.9)	145 (16.6)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	15 (10.9)	71 (51.4)	24 (17.4)	28 (20.3)	138 (100.0)
高齢者用の介護施設などで生活している	A短大	3 (3.1)	86 (89.6)	7 (7.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	4 (1.5)	251 (92.3)	17 (6.3)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	4 (5.1)	72 (91.1)	2 (2.5)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	7 (4.6)	137 (89.5)	9 (5.9)	0 (0.0)	153 (100.0)
	E大学	3 (1.4)	196 (92.9)	10 (4.7)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	3 (4.8)	55 (88.7)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	24 (2.7)	797 (91.3)	49 (5.6)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	4 (2.9)	89 (64.5)	19 (13.8)	26 (18.8)	138 (100.0)

表5 現代の日本社会で生きることを前提に考えて、以下の各状況に対して、あなたはどう思いますか

(単位：人、%)

質問項目	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
水道や電気及びガスが使用できない	A短大	58 (60.4)	37 (38.5)	1 (1.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	138 (50.7)	128 (47.1)	6 (2.2)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	50 (63.3)	29 (36.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	99 (64.7)	47 (30.7)	6 (3.9)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	145 (68.7)	60 (28.4)	4 (1.9)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	42 (67.7)	19 (30.6)	0 (0.0)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	532 (60.9)	320 (36.7)	17 (1.9)	4 (0.5)	873 (100.0)
	M町	64 (46.4)	49 (35.5)	13 (9.4)	12 (8.7)	138 (100.0)
住宅に暖房設備がない*1	A短大	34 (35.4)	61 (63.5)	1 (1.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	81 (29.8)	181 (66.5)	10 (3.7)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	34 (43.0)	43 (54.4)	2 (2.5)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	28 (18.3)	117 (76.5)	7 (4.6)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	53 (25.1)	150 (71.1)	6 (2.8)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	33 (53.2)	29 (46.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	263 (30.1)	581 (66.6)	26 (3.0)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	63 (45.7)	48 (34.8)	11 (8.0)	16 (11.6)	138 (100.0)
住宅にお風呂がない	A短大	23 (24.0)	72 (75.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	64 (23.5)	206 (75.7)	2 (0.7)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	23 (29.1)	52 (65.8)	4 (5.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	28 (18.3)	121 (79.1)	3 (2.0)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	59 (28.0)	144 (68.2)	6 (2.8)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	27 (43.5)	33 (53.2)	2 (3.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	224 (25.7)	628 (71.9)	18 (2.1)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	16 (11.6)	99 (71.7)	8 (5.8)	15 (10.9)	138 (100.0)
住宅に夫婦の寝室がない	A短大	0 (0.0)	88 (91.7)	8 (8.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	5 (1.8)	260 (95.6)	7 (2.6)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	5 (6.3)	72 (91.1)	2 (2.5)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	4 (2.6)	140 (91.5)	7 (4.6)	2 (1.3)	153 (100.0)
	E大学	3 (1.4)	196 (92.9)	9 (4.3)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	8 (12.9)	51 (82.3)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	25 (2.9)	807 (92.4)	36 (4.1)	5 (0.6)	873 (100.0)
	M町	9 (6.5)	110 (79.7)	6 (4.3)	13 (9.4)	138 (100.0)
家族に利用できる車がない	A短大	6 (6.3)	87 (90.6)	3 (3.1)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	15 (5.5)	252 (92.6)	3 (1.1)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	2 (2.5)	73 (92.4)	4 (5.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	5 (3.3)	145 (94.8)	2 (1.3)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	5 (2.4)	198 (93.8)	6 (2.8)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	4 (6.5)	53 (85.5)	5 (8.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	37 (4.2)	808 (92.6)	23 (2.6)	5 (0.6)	873 (100.0)
	M町	7 (5.1)	111 (80.4)	7 (5.1)	13 (9.4)	138 (100.0)
1年に1度のレジャーや旅行もできないほど金銭的余裕がない	A短大	13 (13.5)	77 (80.2)	6 (6.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	42 (15.4)	210 (77.2)	20 (7.4)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	16 (20.3)	58 (73.4)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	26 (17.0)	116 (75.8)	10 (6.5)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	54 (25.6)	144 (68.2)	11 (5.2)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	23 (37.1)	37 (59.7)	2 (3.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	174 (19.9)	642 (73.5)	54 (6.2)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	18 (13.0)	95 (68.8)	12 (8.7)	13 (9.4)	138 (100.0)
緊急時に必要な最低限の貯蓄もない	A短大	35 (36.5)	46 (47.9)	15 (15.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	102 (37.5)	137 (50.4)	33 (12.1)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	39 (49.4)	35 (44.3)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	68 (44.4)	69 (45.1)	15 (9.8)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	91 (43.1)	93 (44.1)	25 (11.8)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	32 (51.6)	21 (33.9)	9 (14.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	367 (42.0)	401 (45.9)	102 (11.7)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	50 (36.2)	68 (49.3)	8 (5.8)	12 (8.7)	138 (100.0)

質問項目	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
若者が高校を卒業していない	A短大	9 (9.4)	83 (86.5)	4 (4.2)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	36 (13.2)	220 (80.9)	16 (5.9)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	13 (16.5)	65 (82.3)	1 (1.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	24 (15.7)	117 (76.5)	11 (7.2)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	35 (16.6)	163 (77.3)	11 (5.2)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	12 (19.4)	49 (79.0)	1 (1.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	129 (14.8)	697 (79.8)	44 (5.0)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	3 (2.2)	106 (76.8)	15 (10.9)	14 (10.1)	138 (100.0)
読み書きに不自由がある	A短大	18 (18.8)	70 (72.9)	8 (8.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	84 (30.9)	166 (61.0)	22 (8.1)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	33 (41.8)	41 (51.9)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	56 (36.6)	84 (54.9)	12 (7.8)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	92 (43.6)	95 (45.0)	21 (10.0)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	19 (30.6)	40 (64.5)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	302 (34.6)	496 (56.8)	71 (8.1)	4 (0.5)	873 (100.0)
	M町	17 (12.3)	91 (65.9)	17 (12.3)	13 (9.4)	138 (100.0)
安定した仕事を持っていない	A短大	19 (19.8)	73 (76.0)	4 (4.2)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	45 (16.5)	202 (74.3)	25 (9.2)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	12 (15.2)	64 (81.0)	3 (3.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	35 (22.9)	111 (72.5)	6 (3.9)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	40 (19.0)	149 (70.6)	20 (9.5)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	15 (24.2)	43 (69.4)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	166 (19.0)	642 (73.5)	62 (7.1)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	19 (13.8)	93 (67.4)	13 (9.4)	13 (9.4)	138 (100.0)
健康的な食生活ができていない	A短大	44 (45.8)	50 (52.1)	2 (2.1)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	118 (43.4)	129 (47.4)	25 (9.2)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	29 (36.7)	46 (58.2)	4 (5.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	69 (45.1)	77 (50.3)	6 (3.9)	1 (0.7)	153 (100.0)
	E大学	105 (49.8)	91 (43.1)	13 (6.2)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	25 (40.3)	34 (54.8)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	390 (44.7)	427 (48.9)	53 (6.1)	3 (0.3)	873 (100.0)
	M町	39 (28.3)	74 (53.6)	13 (9.4)	12 (8.7)	138 (100.0)
医療機関に必要なときにかかれぬ	A短大	70 (72.9)	16 (16.7)	10 (10.4)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	207 (76.1)	48 (17.6)	17 (6.3)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	67 (84.8)	8 (10.1)	4 (5.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	124 (81.0)	15 (9.8)	11 (7.2)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	183 (86.7)	16 (7.6)	9 (4.3)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	54 (87.1)	4 (6.5)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	705 (80.8)	107 (12.3)	55 (6.3)	6 (0.7)	873 (100.0)
	M町	82 (59.4)	34 (24.6)	10 (7.2)	12 (8.7)	138 (100.0)
社会福祉サービスが必要なときに受けられない	A短大	47 (49.0)	36 (37.5)	13 (13.5)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	131 (48.2)	112 (41.2)	29 (10.7)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	43 (54.4)	29 (36.7)	7 (8.9)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	80 (52.3)	47 (30.7)	23 (15.0)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	126 (59.7)	61 (28.9)	20 (9.5)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	42 (67.7)	10 (16.1)	10 (16.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	469 (53.7)	295 (33.8)	102 (11.7)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	42 (30.4)	64 (46.4)	18 (13.0)	14 (10.1)	138 (100.0)
となり近所と良い関係にない	A短大	3 (3.1)	82 (85.4)	11 (11.5)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	12 (4.4)	236 (86.8)	24 (8.8)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	5 (6.3)	69 (87.3)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	11 (7.2)	132 (86.3)	7 (4.6)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	14 (6.6)	175 (82.9)	19 (9.0)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	2 (3.2)	58 (93.5)	2 (3.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	47 (5.4)	752 (86.1)	68 (7.8)	6 (0.7)	873 (100.0)
	M町	12 (8.7)	94 (68.1)	17 (12.3)	15 (10.9)	138 (100.0)

質問項目	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
友人や家族と外出を楽しむ機会がない	A短大	5 (5.2)	84 (87.5)	7 (7.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	20 (7.4)	236 (86.8)	16 (5.9)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	15 (19.0)	58 (73.4)	6 (7.6)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	25 (16.3)	118 (77.1)	7 (4.6)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	31 (14.7)	168 (79.6)	8 (3.8)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	13 (21.0)	44 (71.0)	5 (8.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	109 (12.5)	708 (81.1)	49 (5.6)	7 (0.8)	873 (100.0)
生きがいを感じられない	A短大	22 (22.9)	64 (66.7)	10 (10.4)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	68 (25.0)	173 (63.6)	31 (11.4)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	21 (26.6)	53 (67.1)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	57 (37.3)	85 (55.6)	8 (5.2)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	69 (32.7)	116 (55.0)	23 (10.9)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	14 (22.6)	43 (69.4)	5 (8.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	251 (28.8)	534 (61.2)	82 (9.4)	6 (0.7)	873 (100.0)
他人や社会に役に立つことができない	A短大	5 (5.2)	77 (80.2)	14 (14.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	16 (5.9)	219 (80.5)	37 (13.6)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	8 (10.1)	65 (82.3)	6 (7.6)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	16 (10.5)	124 (81.0)	10 (6.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	18 (8.5)	161 (76.3)	28 (13.3)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	4 (6.5)	55 (88.7)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	67 (7.7)	701 (80.3)	98 (11.2)	7 (0.8)	873 (100.0)
他人や社会から認められていない	A短大	10 (10.4)	68 (70.8)	18 (18.8)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	24 (8.8)	213 (78.3)	35 (12.9)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	13 (16.5)	61 (77.2)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	26 (17.0)	110 (71.9)	13 (8.5)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	45 (21.3)	137 (64.9)	26 (12.3)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	11 (17.7)	47 (75.8)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	129 (14.8)	636 (72.9)	101 (11.6)	7 (0.8)	873 (100.0)
社会あるいは地域とほとんどつながりがない	A短大	13 (13.5)	69 (71.9)	14 (14.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	35 (12.9)	211 (77.6)	26 (9.6)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	12 (15.2)	62 (78.5)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	24 (15.7)	108 (70.6)	18 (11.8)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	31 (14.7)	149 (70.6)	27 (12.8)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	7 (11.3)	51 (82.3)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	122 (14.0)	650 (74.5)	94 (10.8)	7 (0.8)	873 (100.0)
他人から言われたままに生きている	A短大	23 (24.0)	58 (60.4)	15 (15.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	52 (19.1)	191 (70.2)	29 (10.7)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	20 (25.3)	54 (68.4)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	33 (21.6)	105 (68.6)	12 (7.8)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	45 (21.3)	129 (61.1)	34 (16.1)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	6 (9.7)	54 (87.1)	2 (3.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	179 (20.5)	591 (67.7)	97 (11.1)	6 (0.7)	873 (100.0)
	M町	22 (15.9)	75 (54.3)	27 (19.6)	14 (10.1)	138 (100.0)

* 1 E大学については設問が「住宅に冷暖房設備がない」

表6 もしも、あなた自身あるいはあなたの家族が「貧困」になったときには、どのような気持ちになると思いますか
(単位:人、%)

質問項目	対象	はい	いいえ	わからない	無回答	合計
みじめで恥ずかしくなる	A短大	50 (52.1)	15 (15.6)	31 (32.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	117 (43.0)	78 (28.7)	77 (28.3)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	43 (54.4)	22 (27.8)	14 (17.7)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	64 (41.8)	49 (32.0)	37 (24.2)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	114 (54.0)	36 (17.1)	57 (27.0)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	30 (48.4)	13 (21.0)	19 (30.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	418 (47.9)	213 (24.4)	235 (26.9)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	64 (46.4)	33 (23.9)	23 (16.7)	18 (13.0)	138 (100.0)
やけになる	A短大	24 (25.0)	43 (44.8)	29 (30.2)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	44 (16.2)	144 (52.9)	84 (30.9)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	26 (32.9)	37 (46.8)	16 (20.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	30 (19.6)	86 (56.2)	34 (22.2)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	51 (24.2)	94 (44.5)	63 (29.9)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	10 (16.1)	35 (56.5)	16 (25.8)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	185 (21.2)	439 (50.3)	242 (27.7)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	15 (10.9)	74 (53.6)	29 (21.0)	20 (14.5)	138 (100.0)
精神的に落ち込む	A短大	84 (87.5)	6 (6.3)	6 (6.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	223 (82.0)	27 (9.9)	22 (8.1)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	70 (88.6)	6 (7.6)	3 (3.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	121 (79.1)	19 (12.4)	10 (6.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	187 (88.6)	9 (4.3)	12 (5.7)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	51 (82.3)	8 (12.9)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	736 (84.3)	75 (8.6)	56 (6.4)	6 (0.7)	873 (100.0)
	M町	81 (58.7)	26 (18.8)	15 (10.9)	16 (11.6)	138 (100.0)
社会をうらむようになる	A短大	26 (27.1)	36 (37.5)	34 (35.4)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	69 (25.4)	118 (43.4)	85 (31.3)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	30 (38.0)	37 (46.8)	12 (15.2)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	39 (25.5)	83 (54.2)	28 (18.3)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	78 (37.0)	67 (31.8)	62 (29.4)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	21 (33.9)	19 (30.6)	22 (35.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	263 (30.1)	360 (41.2)	243 (27.8)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	20 (14.5)	67 (48.6)	33 (23.9)	18 (13.0)	138 (100.0)
あきらめずに、はい上がる努力をする	A短大	48 (50.0)	8 (8.3)	40 (41.7)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	170 (62.5)	14 (5.1)	88 (32.4)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	50 (63.3)	6 (7.6)	23 (29.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	95 (62.1)	14 (9.2)	41 (26.8)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	120 (56.9)	12 (5.7)	77 (36.5)	2 (0.9)	211 (100.0)
	F大学	35 (56.5)	6 (9.7)	21 (33.9)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	518 (59.3)	60 (6.9)	290 (33.2)	5 (0.6)	873 (100.0)
	M町	101 (73.2)	6 (4.3)	22 (15.9)	9 (6.5)	138 (100.0)
わが子だけは何とかはい上がらせたいと思う	A短大	72 (75.0)	6 (6.3)	18 (18.8)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	192 (70.6)	17 (6.3)	63 (23.2)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	62 (78.5)	3 (3.8)	14 (17.7)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	103 (67.3)	19 (12.4)	27 (17.6)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	148 (70.1)	6 (2.8)	54 (25.6)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	44 (71.0)	2 (3.2)	16 (25.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	621 (71.1)	53 (6.1)	192 (22.0)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	93 (67.4)	14 (10.1)	15 (10.9)	16 (11.6)	138 (100.0)

表7 あなた自身およびあなたの家族が下記の条件を満たしているかどうか (単位:人、%)

質問項目	対象	はい	いいえ	無回答	合計
水道や電気及びガスが利用できる	A短大	96 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	272 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	79 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	148 (96.7)	2 (1.3)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	207 (98.1)	1 (0.5)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	62 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	864 (99.0)	3 (0.3)	6 (0.7)	873 (100.0)
	M町	128 (92.8)	2 (1.4)	8 (5.8)	138 (100.0)
住宅に暖房設備がある	A短大	96 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	272 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	79 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	147 (96.1)	3 (2.0)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	206 (97.6)	2 (0.9)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	62 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	862 (98.7)	5 (0.6)	6 (0.7)	873 (100.0)
	M町	126 (91.3)	1 (0.7)	11 (8.0)	138 (100.0)
住宅にお風呂がある	A短大	96 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	270 (99.3)	1 (0.4)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	79 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	149 (97.4)	1 (0.7)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	208 (98.6)	0 (0.0)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	62 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	864 (99.0)	2 (0.2)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	126 (91.3)	0 (0.0)	12 (8.7)	138 (100.0)
住宅に夫婦あるいは自分の寝室がある	A短大	90 (93.8)	6 (6.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	263 (96.7)	8 (2.9)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	77 (97.5)	1 (1.3)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	134 (87.6)	16 (10.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	200 (94.8)	8 (3.8)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	57 (91.9)	5 (8.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	821 (94.0)	44 (5.0)	8 (0.9)	873 (100.0)
	M町	118 (85.5)	8 (5.8)	12 (8.7)	138 (100.0)
利用できる車がある	A短大	90 (93.8)	6 (6.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	262 (96.3)	9 (3.3)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	76 (96.2)	3 (3.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	120 (78.4)	30 (19.6)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	189 (89.6)	19 (9.0)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	55 (88.7)	7 (11.3)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	792 (90.7)	74 (8.5)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	114 (82.6)	12 (8.7)	12 (8.7)	138 (100.0)
1年に1度はレジャーや旅行ができる金銭的な余裕がある	A短大	80 (83.3)	16 (16.7)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	234 (86.0)	37 (13.6)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	66 (83.5)	12 (15.2)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	129 (84.3)	21 (13.7)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	198 (93.8)	10 (4.7)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	55 (88.7)	6 (9.7)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	762 (87.3)	102 (11.7)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	93 (67.4)	31 (22.5)	14 (10.1)	138 (100.0)
緊急時に必要な最低限の貯蓄がある	A短大	87 (90.6)	9 (9.4)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	238 (87.5)	32 (11.8)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	74 (93.7)	4 (5.1)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	135 (88.2)	15 (9.8)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	196 (92.9)	11 (5.2)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	55 (88.7)	6 (9.7)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	785 (89.9)	77 (8.8)	11 (1.3)	873 (100.0)
	M町	98 (71.0)	27 (19.6)	13 (9.4)	138 (100.0)

質問項目	対象	はい	いいえ	無回答	合計
(家族に)大学を卒業しているものがある	A短大	59 (61.5)	37 (38.5)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	154 (56.6)	117 (43.0)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	57 (72.2)	22 (27.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	108 (70.6)	42 (27.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	158 (74.9)	50 (23.7)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	50 (80.6)	12 (19.4)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	586 (67.1)	280 (32.1)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	74 (53.6)	51 (37.0)	13 (9.4)	138 (100.0)
(家族に)読み書きに不自由な者はいない	A短大	94 (97.9)	2 (2.1)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	268 (98.5)	3 (1.1)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	76 (96.2)	3 (3.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	144 (94.1)	6 (3.9)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	201 (95.3)	7 (3.3)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	59 (95.2)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	842 (96.4)	24 (2.7)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	109 (79.0)	16 (11.6)	13 (9.4)	138 (100.0)
主たる生計支持者は安定した収入あるいは仕事を持っている	A短大	91 (94.8)	5 (5.2)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	256 (94.1)	15 (5.5)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	75 (94.9)	4 (5.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	137 (89.5)	13 (8.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	200 (94.8)	7 (3.3)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	59 (95.2)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	818 (93.7)	47 (5.4)	8 (0.9)	873 (100.0)
	M町	105 (76.1)	19 (13.8)	14 (10.1)	138 (100.0)
健康的な食生活ができている	A短大	94 (97.9)	2 (2.1)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	263 (96.7)	8 (2.9)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	77 (97.5)	2 (2.5)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	144 (94.1)	6 (3.9)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	206 (97.6)	2 (0.9)	3 (1.4)	211 (100.0)
	F大学	56 (90.3)	6 (9.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	840 (96.2)	26 (3.0)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	117 (84.8)	8 (5.8)	13 (9.4)	138 (100.0)
必要なときに医療機関にかかることができる	A短大	94 (97.9)	1 (1.0)	1 (1.0)	96 (100.0)
	B大学	266 (97.8)	5 (1.8)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	79 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	146 (95.4)	4 (2.6)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	207 (98.1)	0 (0.0)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	62 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	854 (97.8)	10 (1.1)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	119 (86.2)	5 (3.6)	14 (10.1)	138 (100.0)
必要なときに社会福祉や社会保障を受けることができる	A短大	95 (99.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	263 (96.7)	5 (1.8)	4 (1.5)	272 (100.0)
	C大学	78 (98.7)	0 (0.0)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	143 (93.5)	1 (0.7)	9 (5.9)	153 (100.0)
	E大学	201 (95.3)	5 (2.4)	5 (2.4)	211 (100.0)
	F大学	58 (93.5)	2 (3.2)	2 (3.2)	62 (100.0)
	合計	838 (96.0)	14 (1.6)	21 (2.4)	873 (100.0)
	M町	115 (83.3)	7 (5.1)	16 (11.6)	138 (100.0)
(あなた自身)となり近所とよい関係にある	A短大	84 (87.5)	12 (12.5)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	240 (88.2)	30 (11.0)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	67 (84.8)	12 (15.2)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	119 (77.8)	30 (19.6)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	174 (82.5)	33 (15.6)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	47 (75.8)	15 (24.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	731 (83.7)	132 (15.1)	10 (1.1)	873 (100.0)
	M町	118 (85.5)	6 (4.3)	14 (10.1)	138 (100.0)

質問項目	対象	はい	いいえ	無回答	合計
(あなた自身)家族や友人と外出を楽しむ機会がある	A短大	94 (97.9)	2 (2.1)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	266 (97.8)	6 (2.2)	0 (0.0)	272 (100.0)
	C大学	78 (98.7)	1 (1.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	144 (94.1)	6 (3.9)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	203 (96.2)	4 (1.9)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	62 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	847 (97.0)	19 (2.2)	7 (0.8)	873 (100.0)
	M町	118 (85.5)	8 (5.8)	12 (8.7)	138 (100.0)
(あなた自身)他人や社会に役立つことができていると感じる	A短大	60 (62.5)	36 (37.5)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	148 (54.4)	121 (44.5)	3 (1.1)	272 (100.0)
	C大学	46 (58.2)	31 (39.2)	2 (2.5)	79 (100.0)
	D大学	91 (59.5)	58 (37.9)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	135 (64.0)	70 (33.2)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	43 (69.4)	18 (29.0)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	523 (59.9)	334 (38.3)	16 (1.8)	873 (100.0)
	M町	96 (69.6)	27 (19.6)	15 (10.9)	138 (100.0)
(あなた自身)他人や社会から認められていると感じる	A短大	60 (62.5)	35 (36.5)	1 (1.0)	96 (100.0)
	B大学	164 (60.3)	103 (37.9)	5 (1.8)	272 (100.0)
	C大学	46 (58.2)	31 (39.2)	2 (2.5)	79 (100.0)
	D大学	93 (60.8)	56 (36.6)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	143 (67.8)	61 (28.9)	7 (3.3)	211 (100.0)
	F大学	49 (79.0)	13 (21.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	555 (63.6)	299 (34.2)	19 (2.2)	873 (100.0)
	M町	99 (71.7)	20 (14.5)	19 (13.8)	138 (100.0)
(あなた自身)社会あるいは地域と何らかのつながりがある	A短大	68 (70.8)	28 (29.2)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	214 (78.7)	55 (20.2)	3 (1.1)	272 (100.0)
	C大学	53 (67.1)	25 (31.6)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	114 (74.5)	36 (23.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	174 (82.5)	32 (15.2)	5 (2.4)	211 (100.0)
	F大学	56 (90.3)	5 (8.1)	1 (1.6)	62 (100.0)
	合計	679 (77.8)	181 (20.7)	13 (1.5)	873 (100.0)
	M町	104 (75.4)	19 (13.8)	15 (10.9)	138 (100.0)

表8 現代社会においてなぜ人々が「貧困におちいるのか」(要因)について、下記の理由についてあなたはどのように思いますか (単位:人、%)

質問事項	対象	強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	合計
社会福祉予算などが少ないことによる	A短大	14 (14.6)	47 (49.0)	19 (19.8)	16 (16.7)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	32 (11.8)	135 (49.6)	59 (21.7)	45 (16.5)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	9 (11.4)	33 (41.8)	18 (22.8)	19 (24.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	22 (14.4)	65 (42.5)	40 (26.1)	23 (15.0)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	36 (17.1)	121 (57.3)	23 (10.9)	27 (12.8)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	15 (24.2)	34 (54.8)	8 (12.9)	5 (8.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	128 (14.7)	435 (49.8)	167 (19.1)	135 (15.5)	8 (0.9)	873 (100.0)
	M町	26 (18.8)	45 (32.6)	38 (27.5)	18 (13.0)	11 (8.0)	138 (100.0)
隣近所が無関心なことによる	A短大	10 (10.4)	34 (35.4)	34 (35.4)	18 (18.8)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	29 (10.7)	77 (28.3)	124 (45.6)	41 (15.1)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	4 (5.1)	26 (32.9)	39 (49.4)	10 (12.7)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	16 (10.5)	54 (35.3)	67 (43.8)	13 (8.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	17 (8.1)	90 (42.7)	79 (37.4)	20 (9.5)	5 (2.4)	211 (100.0)
	F大学	5 (8.1)	24 (38.7)	26 (41.9)	7 (11.3)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	81 (9.3)	305 (34.9)	369 (42.3)	109 (12.5)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	3 (2.2)	44 (31.9)	64 (46.4)	14 (10.1)	13 (9.4)	138 (100.0)

質問事項	対象	強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	合計
大きな病気やけがなどによる	A短大	7 (7.3)	29 (30.2)	37 (38.5)	23 (24.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	12 (4.4)	96 (35.3)	119 (43.8)	44 (16.2)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	7 (8.9)	31 (39.2)	34 (43.0)	7 (8.9)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	11 (7.2)	45 (29.4)	80 (52.3)	14 (9.2)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	8 (3.8)	83 (39.3)	88 (41.7)	28 (13.3)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	6 (9.7)	24 (38.7)	23 (37.1)	9 (14.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	51 (5.8)	308 (35.3)	381 (43.6)	125 (14.3)	8 (0.9)	873 (100.0)
	M町	8 (5.8)	43 (31.2)	54 (39.1)	17 (12.3)	16 (11.6)	138 (100.0)
家族のきずなが弱いことによる	A短大	9 (9.4)	28 (29.2)	40 (41.7)	19 (19.8)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	24 (8.8)	71 (26.1)	135 (49.6)	41 (15.1)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	9 (11.4)	26 (32.9)	33 (41.8)	11 (13.9)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	15 (9.8)	52 (34.0)	65 (42.5)	18 (11.8)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	11 (5.2)	64 (30.3)	105 (49.8)	26 (12.3)	5 (2.4)	211 (100.0)
	F大学	2 (3.2)	20 (32.3)	31 (50.0)	9 (14.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	70 (8.0)	261 (29.9)	409 (46.8)	124 (14.2)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	7 (5.1)	38 (27.5)	64 (46.4)	15 (10.9)	14 (10.1)	138 (100.0)
親から受け継ぐものがないことによる	A短大	2 (2.1)	20 (20.8)	59 (61.5)	15 (15.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	7 (2.6)	32 (11.8)	194 (71.3)	38 (14.0)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	4 (5.1)	12 (15.2)	49 (62.0)	14 (17.7)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	6 (3.9)	23 (15.0)	108 (70.6)	13 (8.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	5 (2.4)	29 (13.7)	141 (66.8)	32 (15.2)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	3 (4.8)	17 (27.4)	38 (61.3)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	27 (3.1)	133 (15.2)	589 (67.5)	116 (13.3)	8 (0.9)	873 (100.0)
	M町	3 (2.2)	10 (7.2)	102 (73.9)	10 (7.2)	13 (9.4)	138 (100.0)
社会の助け合いの意識の不足による	A短大	24 (25.0)	41 (42.7)	20 (20.8)	11 (11.5)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	53 (19.5)	127 (46.7)	60 (22.1)	30 (11.0)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	16 (20.3)	31 (39.2)	21 (26.6)	11 (13.9)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	39 (25.5)	67 (43.8)	31 (20.3)	13 (8.5)	3 (2.0)	153 (100.0)
	E大学	47 (22.3)	109 (51.7)	33 (15.6)	18 (8.5)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	14 (22.6)	29 (46.8)	16 (25.8)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	193 (22.1)	404 (46.3)	181 (20.7)	86 (9.9)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	9 (6.5)	51 (37.0)	51 (37.0)	14 (10.1)	13 (9.4)	138 (100.0)
アルコール中毒や薬物乱用による	A短大	9 (9.4)	31 (32.3)	33 (34.4)	23 (24.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	10 (3.7)	79 (29.0)	134 (49.3)	48 (17.6)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	8 (10.1)	26 (32.9)	39 (49.4)	6 (7.6)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	15 (9.8)	43 (28.1)	75 (49.0)	16 (10.5)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	18 (8.5)	59 (28.0)	92 (43.6)	38 (18.0)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	7 (11.3)	20 (32.3)	25 (40.3)	10 (16.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	67 (7.7)	258 (29.6)	398 (45.6)	141 (16.2)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	22 (15.9)	27 (19.6)	55 (39.9)	21 (15.2)	13 (9.4)	138 (100.0)
解雇や長期失業による	A短大	32 (33.3)	53 (55.2)	6 (6.3)	5 (5.2)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	82 (30.1)	145 (53.3)	21 (7.7)	22 (8.1)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	34 (43.0)	31 (39.2)	10 (12.7)	4 (5.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	57 (37.3)	69 (45.1)	12 (7.8)	11 (7.2)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	73 (34.6)	113 (53.6)	13 (6.2)	8 (3.8)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	37 (59.7)	22 (35.5)	2 (3.2)	1 (1.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	315 (36.1)	433 (49.6)	64 (7.3)	51 (5.8)	10 (1.1)	873 (100.0)
	M町	34 (24.6)	68 (49.3)	17 (12.3)	6 (4.3)	13 (9.4)	138 (100.0)
地域の産業の衰退による	A短大	13 (13.5)	42 (43.8)	23 (24.0)	18 (18.8)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	44 (16.2)	136 (50.0)	55 (20.2)	36 (13.2)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	21 (26.6)	34 (43.0)	15 (19.0)	9 (11.4)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	27 (17.6)	67 (43.8)	36 (23.5)	19 (12.4)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	31 (14.7)	115 (54.5)	33 (15.6)	28 (13.3)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	18 (29.0)	32 (51.6)	8 (12.9)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	154 (17.6)	426 (48.8)	170 (19.5)	114 (13.1)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	23 (16.7)	65 (47.1)	25 (18.1)	14 (10.1)	11 (8.0)	138 (100.0)

質問事項	対象	強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	合計
先のことを考えない生活を送ることによる	A短大	16 (16.7)	40 (41.7)	23 (24.0)	17 (17.7)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	44 (16.2)	107 (39.3)	77 (28.3)	43 (15.8)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	22 (27.8)	30 (38.0)	19 (24.1)	8 (10.1)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	35 (22.9)	56 (36.6)	44 (28.8)	14 (9.2)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	23 (10.9)	98 (46.4)	55 (26.1)	31 (14.7)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	11 (17.7)	28 (45.2)	15 (24.2)	8 (12.9)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	151 (17.3)	359 (41.1)	233 (26.7)	121 (13.9)	9 (1.0)	873 (100.0)
十分な教育を受けていないことによる	A短大	5 (5.2)	30 (31.3)	46 (47.9)	15 (15.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	17 (6.3)	61 (22.4)	144 (52.9)	49 (18.0)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	9 (11.4)	22 (27.8)	41 (51.9)	7 (8.9)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	15 (9.8)	46 (30.1)	75 (49.0)	13 (8.5)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	18 (8.5)	91 (43.1)	76 (36.0)	22 (10.4)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	13 (21.0)	24 (38.7)	17 (27.4)	8 (12.9)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	77 (8.8)	274 (31.4)	399 (45.7)	114 (13.1)	9 (1.0)	873 (100.0)
努力や頑張りの不足から	A短大	12 (12.5)	32 (33.3)	33 (34.4)	19 (19.8)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	31 (11.4)	92 (33.8)	95 (34.9)	53 (19.5)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	21 (26.6)	30 (38.0)	19 (24.1)	9 (11.4)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	23 (15.0)	67 (43.8)	47 (30.7)	11 (7.2)	5 (3.3)	153 (100.0)
	E大学	18 (8.5)	75 (35.5)	80 (37.9)	34 (16.1)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	5 (8.1)	22 (35.5)	29 (46.8)	6 (9.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	110 (12.6)	318 (36.4)	303 (34.7)	132 (15.1)	10 (1.1)	873 (100.0)
子どもが多いことによる	A短大	1 (1.0)	23 (24.0)	58 (60.4)	14 (14.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	3 (1.1)	51 (18.8)	185 (68.0)	32 (11.8)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	7 (8.9)	15 (19.0)	48 (60.8)	9 (11.4)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	5 (3.3)	21 (13.7)	115 (75.2)	8 (5.2)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	7 (3.3)	36 (17.1)	144 (68.2)	20 (9.5)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	5 (8.1)	20 (32.3)	28 (45.2)	9 (14.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	28 (3.2)	166 (19.0)	578 (66.2)	92 (10.5)	9 (1.0)	873 (100.0)
外国人の不法な滞在による	A短大	1 (1.0)	15 (15.6)	49 (51.0)	31 (32.3)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	5 (1.8)	22 (8.1)	189 (69.5)	55 (20.2)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	5 (6.3)	15 (19.0)	45 (57.0)	14 (17.7)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	6 (3.9)	15 (9.8)	98 (64.1)	30 (19.6)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	3 (1.4)	42 (19.9)	115 (54.5)	47 (22.3)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	1 (1.6)	14 (22.6)	35 (56.5)	12 (19.4)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	21 (2.4)	123 (14.1)	531 (60.8)	189 (21.6)	9 (1.0)	873 (100.0)
M町	A短大	4 (2.9)	12 (8.7)	80 (58.0)	28 (20.3)	14 (10.1)	138 (100.0)

表9 なぜ「貧困の中にある人々」「貧困の中におかれる人々」が社会に存在するのか

(単位:人、%)

対象	質問事項					合計
	その人たちが不運であり続けたから	その人たちの頑張りが足りなかったから	社会にたくさんの不正があるから	経済発展に伴う避けられない現象だから	無回答	
A短大	7 (7.3)	9 (9.4)	59 (61.5)	21 (21.9)	0 (0.0)	96 (100.0)
B大学	15 (5.5)	18 (6.6)	161 (59.2)	76 (27.9)	2 (0.7)	272 (100.0)
C大学	4 (5.1)	14 (17.7)	38 (48.1)	22 (27.8)	1 (1.3)	79 (100.0)
D大学	9 (5.9)	20 (13.1)	72 (47.1)	48 (31.4)	4 (2.6)	153 (100.0)
E大学	8 (3.8)	13 (6.2)	116 (55.0)	69 (32.7)	5 (2.4)	211 (100.0)
F大学	2 (3.2)	5 (8.1)	40 (64.5)	15 (24.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	45 (5.2)	79 (9.0)	486 (55.7)	251 (28.8)	12 (1.4)	873 (100.0)
M町	8 (5.8)	24 (17.4)	69 (50.0)	28 (20.3)	9 (6.5)	138 (100.0)

表10 最近の日本社会に関して最も近い意見はどれか (単位：人、%)

対象	質問事項				合計
	裕福な人々はより裕福に、貧困な人々はより貧困になっている	裕福な人々と貧困な人々との生活格差はだんだん少なくなってきた	どちらともいえない	無回答	
A短大	65 (67.7)	5 (5.2)	26 (27.1)	0 (0.0)	96 (100.0)
B大学	166 (61.0)	23 (8.5)	82 (30.1)	1 (0.4)	272 (100.0)
C大学	49 (62.0)	5 (6.3)	25 (31.6)	0 (0.0)	79 (100.0)
D大学	95 (62.1)	10 (6.5)	44 (28.8)	4 (2.6)	153 (100.0)
E大学	137 (64.9)	15 (7.1)	55 (26.1)	4 (1.9)	211 (100.0)
F大学	47 (75.8)	5 (8.1)	10 (16.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	559 (64.0)	63 (7.2)	242 (27.7)	9 (1.0)	873 (100.0)
M町	76 (55.1)	17 (12.3)	39 (28.3)	6 (4.3)	138 (100.0)

表11 「貧困から抜け出す」方法として、下記の意見をどう思いますか (単位：人、%)

質問項目	対象	強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	合計
がまんして節約した生活を送り、人の倍以上働くなど、結局は個人の頑張りなどの努力が「貧困から抜け出す」方法だと思う	A短大	11 (11.5)	50 (52.1)	21 (21.9)	14 (14.6)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	30 (11.0)	160 (58.8)	54 (19.9)	27 (9.9)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	20 (25.3)	41 (51.9)	13 (16.5)	5 (6.3)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	21 (13.7)	83 (54.2)	29 (19.0)	16 (10.5)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	13 (6.2)	120 (56.9)	51 (24.2)	23 (10.9)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	9 (14.5)	28 (45.2)	19 (30.6)	6 (9.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	104 (11.9)	482 (55.2)	187 (21.4)	91 (10.4)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	26 (18.8)	69 (50.0)	23 (16.7)	11 (8.0)	9 (6.5)	138 (100.0)
結局はその家族や親族が助ける以外に方法はないと思う	A短大	3 (3.1)	17 (17.7)	53 (55.2)	23 (24.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	4 (1.5)	52 (19.1)	177 (65.1)	38 (14.0)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	3 (3.8)	8 (10.1)	59 (74.7)	9 (11.4)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	3 (2.0)	17 (11.1)	116 (75.8)	13 (8.5)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	4 (1.9)	28 (13.3)	150 (71.1)	25 (11.8)	4 (1.9)	211 (100.0)
	F大学	0 (0.0)	11 (17.7)	43 (69.4)	8 (12.9)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	17 (1.9)	133 (15.2)	598 (68.5)	116 (13.3)	9 (1.0)	873 (100.0)
	M町	5 (3.6)	31 (22.5)	78 (56.5)	13 (9.4)	11 (8.0)	138 (100.0)
もっとやり直しのできる機会を増やすことが「貧困から抜け出す」ことを促すと思う	A短大	18 (18.8)	47 (49.0)	12 (12.5)	19 (19.8)	0 (0.0)	96 (100.0)
	B大学	56 (20.6)	139 (51.1)	43 (15.8)	33 (12.1)	1 (0.4)	272 (100.0)
	C大学	20 (25.3)	39 (49.4)	14 (17.7)	6 (7.6)	0 (0.0)	79 (100.0)
	D大学	36 (23.5)	93 (60.8)	12 (7.8)	8 (5.2)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	47 (22.3)	132 (62.6)	17 (8.1)	9 (4.3)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	31 (50.0)	26 (41.9)	3 (4.8)	2 (3.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	208 (23.8)	476 (54.5)	101 (11.6)	77 (8.8)	11 (1.3)	873 (100.0)
	M町	19 (13.8)	55 (39.9)	40 (29.0)	13 (9.4)	11 (8.0)	138 (100.0)

表12 「生活保護制度」の存在を知っていますか (単位：人、%)

対象	よく知っている	ある程度知っている	言葉は知っている	まったく知らない	無回答	合計
A短大	2 (2.1)	23 (24.0)	62 (64.6)	9 (9.4)	0 (0.0)	96 (100.0)
B大学	14 (5.1)	104 (38.2)	140 (51.5)	13 (4.8)	1 (0.4)	272 (100.0)
C大学	8 (10.1)	41 (51.9)	28 (35.4)	2 (2.5)	0 (0.0)	79 (100.0)
D大学	7 (4.6)	61 (39.9)	73 (47.7)	8 (5.2)	4 (2.6)	153 (100.0)
E大学	5 (2.4)	83 (39.3)	112 (53.1)	6 (2.8)	5 (2.4)	211 (100.0)
F大学	5 (8.1)	28 (45.2)	27 (43.5)	2 (3.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	41 (4.7)	340 (38.9)	442 (50.6)	40 (4.6)	10 (1.1)	873 (100.0)
M町	19 (13.8)	65 (47.1)	45 (32.6)	3 (2.2)	6 (4.3)	138 (100.0)

表 13 生活保護制度は必要な人に利用されていると思いますか (単位：人、%)

対象	必要なすべての人に利用されている	必要な人々に利用されていない場合が多い	必要でない人に利用されている	わからない	無回答	合計
A短大	1 (1.0)	63 (65.6)	8 (8.3)	24 (25.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
B大学	5 (1.8)	178 (65.4)	36 (13.2)	52 (19.1)	1 (0.4)	272 (100.0)
C大学	1 (1.3)	53 (67.1)	15 (19.0)	9 (11.4)	1 (1.3)	79 (100.0)
D大学	6 (3.9)	98 (64.1)	13 (8.5)	31 (20.3)	5 (3.3)	153 (100.0)
E大学	5 (2.4)	141 (66.8)	7 (3.3)	53 (25.1)	5 (2.4)	211 (100.0)
F大学	2 (3.2)	44 (71.0)	9 (14.5)	7 (11.3)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	20 (2.3)	577 (66.1)	88 (10.1)	176 (20.2)	12 (1.4)	873 (100.0)
M町	10 (7.2)	53 (38.4)	26 (18.8)	41 (29.7)	8 (5.8)	138 (100.0)

表 14 生活保護制度は、「保護から抜け出す」ための「自立」に効果がある制度だと思いますか (単位：人、%)

対象	効果がある	依存精神を助長している	効果と同時に依存精神も両方持っている	わからない	無回答	合計
A短大	9 (9.4)	11 (11.5)	29 (30.2)	47 (49.0)	0 (0.0)	96 (100.0)
B大学	34 (12.5)	33 (12.1)	113 (41.5)	91 (33.5)	1 (0.4)	272 (100.0)
C大学	6 (7.6)	14 (17.7)	41 (51.9)	18 (22.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
D大学	19 (12.4)	21 (13.7)	62 (40.5)	47 (30.7)	4 (2.6)	153 (100.0)
E大学	20 (9.5)	25 (11.8)	84 (39.8)	75 (35.5)	7 (3.3)	211 (100.0)
F大学	5 (8.1)	9 (14.5)	35 (56.5)	12 (19.4)	1 (1.6)	62 (100.0)
合計	93 (10.7)	113 (12.9)	364 (41.7)	290 (33.2)	13 (1.5)	873 (100.0)
M町	14 (10.1)	16 (11.6)	66 (47.8)	35 (25.4)	7 (5.1)	138 (100.0)

表 15 テレビ、新聞、雑誌等についてどのように思いますか (単位：人、%)

質問項目	対象	思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
日本に「貧困」について取り上げることがほとんどないと思う	A短大	45 (46.9)	23 (24.0)	26 (27.1)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	160 (58.8)	54 (19.9)	56 (20.6)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	36 (45.6)	29 (36.7)	13 (16.5)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	72 (47.1)	55 (35.9)	22 (14.4)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	133 (63.0)	44 (20.9)	28 (13.3)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	41 (66.1)	11 (17.7)	10 (16.1)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	487 (55.8)	216 (24.7)	155 (17.8)	15 (1.7)	873 (100.0)
	M町	70 (50.7)	34 (24.6)	24 (17.4)	10 (7.2)	138 (100.0)
「貧困」について取り上げるのは生活保護制度などに関連して、事件や裁判があったときだけである	A短大	50 (52.1)	13 (13.5)	31 (32.3)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	164 (60.3)	42 (15.4)	64 (23.5)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	42 (53.2)	15 (19.0)	21 (26.6)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	76 (49.7)	38 (24.8)	35 (22.9)	4 (2.6)	153 (100.0)
	E大学	108 (51.2)	30 (14.2)	67 (31.8)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	40 (64.5)	7 (11.3)	15 (24.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	480 (55.0)	145 (16.6)	233 (26.7)	15 (1.7)	873 (100.0)
	M町	73 (52.9)	25 (18.1)	30 (21.7)	10 (7.2)	138 (100.0)

表16 「貧困のない社会」あるいは「貧困を減らす社会」をつくるためには、どこが責任を持つべきだと考えますか

(単位:人、%)

質問項目	対象	強くそう思う	そう思う	思わない	わからない	無回答	合計
国、都道府県、市町村などの公的機関	A短大	38 (39.6)	45 (46.9)	3 (3.1)	8 (8.3)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	110 (40.4)	135 (49.6)	12 (4.4)	13 (4.8)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	31 (39.2)	38 (48.1)	5 (6.3)	4 (5.1)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	58 (37.9)	81 (52.9)	7 (4.6)	2 (1.3)	5 (3.3)	153 (100.0)
	E大学	98 (46.4)	97 (46.0)	7 (3.3)	3 (1.4)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	36 (58.1)	25 (40.3)	0 (0.0)	1 (1.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	371 (42.5)	421 (48.2)	34 (3.9)	31 (3.6)	16 (1.8)	873 (100.0)
	M町	52 (37.7)	55 (39.9)	10 (7.2)	13 (9.4)	8 (5.8)	138 (100.0)
ボランティア団体	A短大	7 (7.3)	46 (47.9)	27 (28.1)	14 (14.6)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	15 (5.5)	97 (35.7)	132 (48.5)	26 (9.6)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	8 (10.1)	21 (26.6)	42 (53.2)	7 (8.9)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	5 (3.3)	52 (34.0)	75 (49.0)	15 (9.8)	6 (3.9)	153 (100.0)
	E大学	9 (4.3)	86 (40.8)	89 (42.2)	21 (10.0)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	4 (6.5)	31 (50.0)	27 (43.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	48 (5.5)	333 (38.1)	392 (44.9)	83 (9.5)	17 (1.9)	873 (100.0)
	M町	3 (2.2)	24 (17.4)	64 (46.4)	23 (16.7)	24 (17.4)	138 (100.0)
企業・会社	A短大	20 (20.8)	52 (54.2)	11 (11.5)	11 (11.5)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	43 (15.8)	159 (58.5)	42 (15.4)	25 (9.2)	3 (1.1)	272 (100.0)
	C大学	14 (17.7)	46 (58.2)	10 (12.7)	7 (8.9)	2 (2.5)	79 (100.0)
	D大学	24 (15.7)	88 (57.5)	25 (16.3)	10 (6.5)	6 (3.9)	153 (100.0)
	E大学	34 (16.1)	133 (63.0)	27 (12.8)	11 (5.2)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	28 (45.2)	24 (38.7)	8 (12.9)	2 (3.2)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	163 (18.7)	502 (57.5)	123 (14.1)	66 (7.6)	19 (2.2)	873 (100.0)
	M町	17 (12.3)	67 (48.6)	22 (15.9)	12 (8.7)	20 (14.5)	138 (100.0)
労働組合	A短大	19 (19.8)	50 (52.1)	10 (10.4)	15 (15.6)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	32 (11.8)	149 (54.8)	50 (18.4)	39 (14.3)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	10 (12.7)	49 (62.0)	14 (17.7)	5 (6.3)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	18 (11.8)	87 (56.9)	26 (17.0)	17 (11.1)	5 (3.3)	153 (100.0)
	E大学	25 (11.8)	121 (57.3)	31 (14.7)	28 (13.3)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	15 (24.2)	31 (50.0)	8 (12.9)	8 (12.9)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	119 (13.6)	487 (55.8)	139 (15.9)	112 (12.8)	16 (1.8)	873 (100.0)
	M町	14 (10.1)	41 (29.7)	40 (29.0)	21 (15.2)	22 (15.9)	138 (100.0)
宗教団体	A短大	0 (0.0)	6 (6.3)	57 (59.4)	31 (32.3)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	5 (1.8)	8 (2.9)	224 (82.4)	33 (12.1)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	1 (1.3)	10 (12.7)	58 (73.4)	9 (11.4)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	1 (0.7)	13 (8.5)	113 (73.9)	21 (13.7)	5 (3.3)	153 (100.0)
	E大学	3 (1.4)	24 (11.4)	145 (68.7)	33 (15.6)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	2 (3.2)	5 (8.1)	49 (79.0)	6 (9.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	12 (1.4)	66 (7.6)	646 (74.0)	133 (15.2)	16 (1.8)	873 (100.0)
	M町	3 (2.2)	8 (5.8)	80 (58.0)	25 (18.1)	22 (15.9)	138 (100.0)
「貧困にある」当事者自体	A短大	11 (11.5)	54 (56.3)	14 (14.6)	15 (15.6)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	64 (23.5)	141 (51.8)	32 (11.8)	32 (11.8)	3 (1.1)	272 (100.0)
	C大学	23 (29.1)	36 (45.6)	9 (11.4)	10 (12.7)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	48 (31.4)	68 (44.4)	16 (10.5)	16 (10.5)	5 (3.3)	153 (100.0)
	E大学	32 (15.2)	116 (55.0)	29 (13.7)	28 (13.3)	6 (2.8)	211 (100.0)
	F大学	16 (25.8)	39 (62.9)	4 (6.5)	3 (4.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	194 (22.2)	454 (52.0)	104 (11.9)	104 (11.9)	17 (1.9)	873 (100.0)
	M町	27 (19.6)	47 (34.1)	22 (15.9)	19 (13.8)	23 (16.7)	138 (100.0)
人々や機関はかかわるべきではない	A短大	0 (0.0)	2 (2.1)	70 (72.9)	22 (22.9)	2 (2.1)	96 (100.0)
	B大学	2 (0.7)	5 (1.8)	235 (86.4)	28 (10.3)	2 (0.7)	272 (100.0)
	C大学	1 (1.3)	3 (3.8)	63 (79.7)	11 (13.9)	1 (1.3)	79 (100.0)
	D大学	1 (0.7)	7 (4.6)	128 (83.7)	12 (7.8)	5 (3.3)	153 (100.0)
	E大学	1 (0.5)	2 (0.9)	176 (83.4)	25 (11.8)	7 (3.3)	211 (100.0)
	F大学	1 (1.6)	1 (1.6)	60 (96.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	62 (100.0)
	合計	6 (0.7)	20 (2.3)	732 (83.8)	98 (11.2)	17 (1.9)	873 (100.0)
	M町	3 (2.2)	10 (7.2)	83 (60.1)	19 (13.8)	23 (16.7)	138 (100.0)

表 17-ア 性別 (単位：人、%)

対象	男性	女性	無回答	合計
A短大	0 (0.0)	94 (97.9)	2 (2.1)	96 (100.0)
B大学	104 (38.2)	166 (61.0)	2 (0.7)	272 (100.0)
C大学	30 (38.0)	48 (60.8)	1 (1.3)	79 (100.0)
D大学	71 (46.4)	77 (50.3)	5 (3.3)	153 (100.0)
E大学	55 (26.1)	150 (71.1)	6 (2.8)	211 (100.0)
F大学	22 (35.5)	40 (64.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	282 (31.3)	575 (66.3)	16 (2.4)	873 (100.0)
M町	48 (34.8)	81 (58.7)	9 (6.5)	138 (100.0)

表 17-イ 年齢 (単位：人、%)

対象	20歳未満	20-24歳	25-29歳	30歳以上	無回答	合計
A短大	89 (92.7)	3 (3.1)	0 (0.0)	2 (2.1)	2 (2.1)	96 (100.0)
B大学	145 (53.3)	109 (40.1)	7 (2.6)	10 (3.7)	1 (0.4)	272 (100.0)
C大学	31 (39.2)	45 (57.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	2 (2.5)	79 (100.0)
D大学	120 (78.4)	22 (14.4)	1 (0.7)	6 (3.9)	4 (2.6)	153 (100.0)
E大学	147 (69.7)	56 (26.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	6 (2.8)	211 (100.0)
F大学	6 (9.7)	54 (87.1)	1 (1.6)	1 (1.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	538 (61.6)	289 (33.1)	10 (1.1)	21 (2.4)	15 (1.7)	873 (100.0)

(単位：人、%)

対象	30歳未満	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	無回答	合計
M町	8 (5.8)	14 (10.1)	20 (14.5)	46 (219.0)	23 (109.5)	21 (15.2)	6 (4.3)	138 (378.6)
合計	8 (5.8)	14 (10.1)	20 (14.5)	46 (33.3)	23 (16.7)	21 (15.2)	6 (4.3)	138 (100.0)

表 17-ウ 家計支持者の職業

(単位：人、%)

対象	民間企業勤務	公務員・団体職員・教員	農林水産業の自営業	それ以外の自営業	無職	その他	無回答	合計
A短大	51 (53.1)	26 (27.1)	3 (3.1)	12 (12.5)	0 (0.0)	2 (2.1)	2 (2.1)	96 (100.0)
B大学	112 (41.2)	88 (32.4)	8 (2.9)	42 (15.4)	0 (0.0)	16 (5.9)	6 (2.2)	272 (100.0)
C大学	30 (38.0)	24 (30.4)	3 (3.8)	10 (12.7)	3 (3.8)	6 (7.6)	3 (3.8)	79 (100.0)
D大学	83 (54.2)	31 (20.3)	1 (0.7)	20 (13.1)	5 (3.3)	5 (3.3)	8 (5.2)	153 (100.0)
E大学	122 (57.8)	41 (19.4)	3 (1.4)	28 (13.3)	2 (0.9)	8 (3.8)	7 (3.3)	211 (100.0)
F大学	26 (41.9)	27 (43.5)	0 (0.0)	6 (9.7)	2 (3.2)	1 (1.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	424 (48.6)	237 (27.1)	18 (2.1)	118 (13.5)	12 (1.4)	38 (4.4)	26 (3.0)	873 (100.0)
M町*1	35 (25.4)	59 (42.8)	3 (2.2)	17 (12.3)	11 (8.0)	5 (3.6)	8 (5.8)	138 (100.0)

*1 「それ以外の自営業」欄は「商業・製造業・サービスなどの自営業」

表 18 住宅の種類

(単位：人、%)

対象	持ち家一戸建て	持ち家マンション	公団・公社の賃貸住宅	市町村等・通学などの公営住宅	民間の賃貸住宅	その他	無回答	合計
A短大	64 (66.7)	15 (15.6)	4 (4.2)	4 (4.2)	7 (7.3)	0 (0.0)	2 (2.1)	96 (100.0)
B大学	200 (73.5)	14 (5.1)	15 (5.5)	11 (4.0)	21 (7.7)	5 (1.8)	6 (2.2)	272 (100.0)
C大学	67 (84.8)	3 (3.8)	2 (2.5)	0 (0.0)	4 (5.1)	3 (3.8)	0 (0.0)	79 (100.0)
D大学	91 (59.5)	30 (19.6)	9 (5.9)	3 (2.0)	12 (7.8)	3 (2.0)	5 (3.3)	153 (100.0)
E大学	137 (64.9)	42 (19.9)	11 (5.2)	3 (1.4)	5 (2.4)	5 (2.4)	8 (3.8)	211 (100.0)
F大学	41 (66.1)	9 (14.5)	3 (4.8)	1 (1.6)	7 (11.3)	1 (1.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	600 (68.7)	113 (12.9)	44 (5.0)	22 (2.5)	56 (6.4)	17 (1.9)	21 (2.4)	873 (100.0)
M町	110 (79.7)	1 (0.7)	1 (0.7)	14 (10.1)	5 (3.6)	2 (1.4)	5 (3.6)	138 (100.0)

表19 世帯収入(税込) (単位:人、%)

対象	100万円未満	100-199万円	200-299万円	300-399万円	400-499万円	500-699万円
A短大	4 (4.2)	3 (3.1)	3 (3.1)	5 (5.2)	6 (6.3)	11 (11.5)
B大学	2 (0.7)	6 (2.2)	11 (4.0)	17 (6.3)	22 (8.1)	27 (9.9)
C大学	3 (3.8)	0 (0.0)	2 (2.5)	3 (3.8)	3 (3.8)	5 (6.3)
D大学	1 (0.7)	12 (7.8)	5 (3.3)	12 (7.8)	9 (5.9)	22 (14.4)
E大学	3 (1.4)	3 (1.4)	3 (1.4)	5 (2.4)	12 (5.7)	17 (8.1)
F大学	2 (3.2)	2 (3.2)	2 (3.2)	2 (3.2)	3 (4.8)	11 (17.7)
合計	15 (1.7)	26 (3.0)	26 (3.0)	44 (5.0)	55 (6.3)	93 (10.7)
M町	6 (4.3)	8 (5.8)	17 (12.3)	20 (14.5)	15 (10.9)	14 (10.1)

対象	700-999万円	1000-1500万円	1500万円以上	答えたくない	無回答	合計
A短大	10 (10.4)	5 (5.2)	2 (2.1)	38 (39.6)	9 (9.4)	96 (100.0)
B大学	35 (12.9)	21 (7.7)	9 (3.3)	92 (33.8)	30 (11.0)	272 (100.0)
C大学	12 (15.2)	11 (13.9)	0 (0.0)	28 (35.4)	12 (15.2)	79 (100.0)
D大学	14 (9.2)	12 (7.8)	3 (2.0)	36 (23.5)	27 (17.6)	153 (100.0)
E大学	23 (10.9)	30 (14.2)	5 (2.4)	72 (34.1)	38 (18.0)	211 (100.0)
F大学	17 (27.4)	6 (9.7)	1 (1.6)	10 (16.1)	6 (9.7)	62 (100.0)
合計	111 (12.7)	85 (9.7)	20 (2.3)	276 (31.6)	122 (14.0)	873 (100.0)
M町	19 (13.8)	8 (5.8)	1 (0.7)	19 (13.8)	11 (8.0)	138 (100.0)

表20 現在の自分の生活が下記のどこに属すると思いますか

(単位:人、%)

対象	上	の中上	中流	の中下	下	分類したくない	わからない	無回答	合計
A短大	1 (1.0)	11 (11.5)	37 (38.5)	20 (20.8)	4 (4.2)	8 (8.3)	13 (13.5)	2 (2.1)	96 (100.0)
B大学	3 (1.1)	23 (8.5)	104 (38.2)	52 (19.1)	8 (2.9)	40 (14.7)	37 (13.6)	5 (1.8)	272 (100.0)
C大学	0 (0.0)	8 (10.1)	28 (35.4)	8 (10.1)	5 (6.3)	17 (21.5)	12 (15.2)	1 (1.3)	79 (100.0)
D大学	1 (0.7)	21 (13.7)	58 (37.9)	28 (18.3)	6 (3.9)	17 (11.1)	16 (10.5)	6 (3.9)	153 (100.0)
E大学	1 (0.5)	30 (14.2)	91 (43.1)	24 (11.4)	2 (0.9)	23 (10.9)	33 (15.6)	7 (3.3)	211 (100.0)
F大学	0 (0.0)	7 (11.3)	31 (50.0)	13 (21.0)	2 (3.2)	3 (4.8)	6 (9.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	6 (0.7)	100 (11.5)	349 (40.0)	145 (16.6)	27 (3.1)	108 (12.4)	117 (13.4)	21 (2.4)	873 (100.0)
M町	0 (0.0)	7 (5.1)	49 (35.5)	28 (20.3)	15 (10.9)	22 (15.9)	11 (8.0)	6 (4.3)	138 (100.0)

表21 「貧困」という言葉に「違和感」を感じましたか

(単位:人、%)

対象	感じた	感じなかった	無回答	合計
A短大	35 (36.5)	58 (60.4)	3 (3.1)	96 (100.0)
B大学	132 (48.5)	134 (49.3)	6 (2.2)	272 (100.0)
C大学	31 (39.2)	43 (54.4)	5 (6.3)	79 (100.0)
D大学	67 (43.8)	79 (51.6)	7 (4.6)	153 (100.0)
E大学	101 (47.9)	103 (48.8)	7 (3.3)	211 (100.0)
F大学	28 (45.2)	34 (54.8)	0 (0.0)	62 (100.0)
合計	394 (45.1)	451 (51.7)	28 (3.2)	873 (100.0)
M町	73 (52.9)	56 (40.6)	9 (6.5)	138 (100.0)

B調査

表1 「貧困」という言葉を聞いて以下の内容を思い浮かべますか

(単位 人、%)

質問事項	対象	はい	いいえ	無回答	合計
戦前や敗戦直後に多く見られた日本の生活	専門学校G	158 (82.7)	32 (16.8)	1 (0.5)	191 (100.0)
	専門学校H	35 (66.0)	15 (28.3)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	23 (62.2)	11 (29.7)	3 (8.1)	37 (100.0)
	合計	216 (76.9)	58 (20.6)	7 (2.5)	281 (100.0)
ホームレスの人の生活* 1	専門学校G	113 (59.2)	75 (39.3)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	36 (67.9)	15 (28.3)	2 (3.8)	53 (100.0)
	専門学校I	24 (64.9)	11 (29.7)	2 (5.4)	37 (100.0)
	合計	173 (61.6)	101 (35.9)	7 (2.5)	281 (100.0)
生活保護受給世帯の生活* 1	専門学校G	62 (32.5)	126 (66.0)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	18 (34.0)	32 (60.4)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	24 (64.9)	11 (29.7)	2 (5.4)	37 (100.0)
	合計	104 (37.0)	169 (60.1)	8 (2.8)	281 (100.0)
テレビや新聞等で知る途上国や戦災国の生活	専門学校G	165 (86.4)	23 (12.0)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	47 (88.7)	5 (9.4)	1 (1.9)	53 (100.0)
	専門学校I	30 (81.1)	5 (13.5)	2 (5.4)	37 (100.0)
	合計	242 (86.1)	33 (11.7)	6 (2.1)	281 (100.0)
過去あるいは現在の自分自身の生活	専門学校G	34 (17.8)	154 (80.6)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	8 (15.1)	43 (81.1)	2 (3.8)	53 (100.0)
	専門学校I	0 (0.0)	34 (91.9)	3 (8.1)	37 (100.0)
	合計	42 (14.9)	231 (82.2)	8 (2.8)	281 (100.0)
政治家や国民の精神的な意味での貧しさ	専門学校G	66 (34.6)	121 (63.4)	4 (2.1)	191 (100.0)
	専門学校H	22 (41.5)	29 (54.7)	2 (3.8)	53 (100.0)
	専門学校I	7 (18.9)	27 (73.0)	3 (8.1)	37 (100.0)
	合計	95 (33.8)	177 (63.0)	9 (3.2)	281 (100.0)
「清貧の思想」「名もなく貧しく美しい」といった生き方	専門学校G	16 (8.4)	170 (89.0)	5 (2.6)	191 (100.0)
	専門学校H	4 (7.5)	46 (86.8)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	33 (89.2)	3 (8.1)	37 (100.0)
	合計	21 (7.5)	249 (88.6)	11 (3.9)	281 (100.0)

* 1 専門学校 I については設問が「ホームレスの人々や生活保護世帯」

表2 下記のような状態にある場合、それを「貧困の中にある」「貧困の中におかれている」と考えますか

(単位 人、%)

質問事項	対象	はい	いいえ	わからない	無回答	合計
ホームレスとして路上生活をしている	専門学校G	122 (63.9)	57 (29.8)	10 (5.2)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	38 (71.7)	9 (17.0)	6 (11.3)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	18 (48.6)	15 (40.5)	4 (10.8)	0 (0.0)	37 (100.0)
	合計	178 (63.3)	81 (28.8)	20 (7.1)	2 (0.7)	281 (100.0)
1年以上失業状態で生活している	専門学校G	52 (27.2)	114 (59.7)	23 (12.0)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	19 (35.8)	23 (43.4)	11 (20.8)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	7 (18.9)	20 (54.1)	10 (27.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
	合計	78 (27.8)	157 (55.9)	44 (15.7)	2 (0.7)	281 (100.0)
生活保護を受給して生活している	専門学校G	57 (29.8)	108 (56.5)	24 (12.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	17 (32.1)	29 (54.7)	6 (11.3)	1 (1.9)	53 (100.0)
	専門学校I	15 (40.5)	21 (56.8)	1 (2.7)	0 (0.0)	37 (100.0)
	合計	89 (31.7)	158 (56.2)	31 (11.0)	3 (1.1)	281 (100.0)
サラ金等からお金を借りて生活している	専門学校G	78 (40.8)	93 (48.7)	18 (9.4)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	24 (45.3)	24 (45.3)	5 (9.4)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	21 (56.8)	11 (29.7)	5 (13.5)	0 (0.0)	37 (100.0)
	合計	123 (43.8)	128 (45.6)	28 (10.0)	2 (0.7)	281 (100.0)

質問事項	対象	はい	いいえ	わからない	無回答	合計
ローンを抱えた生活をしている	専門学校G	22 (11.5)	150 (78.5)	17 (8.9)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	4 (7.5)	43 (81.1)	6 (11.3)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	35 (94.6)	1 (2.7)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		27 (9.6)	228 (81.1)	24 (8.5)	2 (0.7)	281 (100.0)
生涯の大半を施設で暮らしている	専門学校G	16 (8.4)	159 (83.2)	14 (7.3)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	3 (5.7)	41 (77.4)	9 (17.0)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	4 (10.8)	28 (75.7)	5 (13.5)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		23 (8.2)	228 (81.1)	28 (10.0)	2 (0.7)	281 (100.0)
高齢者用の介護施設などで生活している	専門学校G	4 (2.1)	180 (94.2)	5 (2.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	5 (9.4)	43 (81.1)	4 (7.5)	1 (1.9)	53 (100.0)
	専門学校I	0 (0.0)	35 (94.6)	2 (5.4)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		9 (3.2)	258 (91.8)	11 (3.9)	3 (1.1)	281 (100.0)
高齢者がひとりで地域で生活している	専門学校G	16 (8.4)	162 (84.8)	11 (5.8)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	5 (9.4)	43 (81.1)	5 (9.4)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	35 (94.6)	1 (2.7)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		22 (7.8)	240 (85.4)	17 (6.0)	2 (0.7)	281 (100.0)
大きな身体障害を持って生活している	専門学校G	9 (4.7)	170 (89.0)	10 (5.2)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	3 (5.7)	43 (81.1)	7 (13.2)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	0 (0.0)	36 (97.3)	1 (2.7)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		12 (4.3)	249 (88.6)	18 (6.4)	2 (0.7)	281 (100.0)
健康保険がない生活をしている	専門学校G	31 (16.2)	113 (59.2)	45 (23.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	12 (22.6)	29 (54.7)	12 (22.6)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	11 (29.7)	22 (59.5)	4 (10.8)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		54 (19.2)	164 (58.4)	61 (21.7)	2 (0.7)	281 (100.0)
非合法滞在者として生活している	専門学校G	37 (19.4)	84 (44.0)	68 (35.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	10 (18.9)	20 (37.7)	23 (43.4)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	8 (21.6)	16 (43.2)	13 (35.1)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		55 (19.6)	120 (42.7)	104 (37.0)	2 (0.7)	281 (100.0)

表3 身近なところに「貧困の中にある」「貧困の中におかれている」と思われる人はいますか

(単位 人、%)

対象	多い	かなり	多少	いない	わからない	無回答	合計
専門学校G	4 (2.1)	6 (3.1)	29 (15.2)	120 (62.8)	27 (14.1)	5 (2.6)	191 (100.0)
専門学校H	5 (9.4)	1 (1.9)	6 (11.3)	29 (54.7)	11 (20.8)	1 (1.9)	53 (100.0)
専門学校I	2 (5.4)	1 (2.7)	5 (13.5)	22 (59.5)	7 (18.9)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計	11 (3.9)	8 (2.8)	40 (14.2)	171 (60.9)	45 (16.0)	6 (2.1)	281 (100.0)

表4 現代の日本の社会で「貧困とはいかなる状態のこと」をいうのか (単位 人、%)

質問事項	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
水道と電気及びガスが利用できない	専門学校G	71 (37.2)	111 (58.1)	5 (2.6)	4 (2.1)	191 (100.0)
	専門学校H	21 (39.6)	30 (56.6)	2 (3.8)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	19 (51.4)	17 (45.9)	1 (2.7)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		111 (39.5)	158 (56.2)	8 (2.8)	4 (1.4)	281 (100.0)
住宅に冷暖房設備がない*1	専門学校G	38 (19.9)	145 (75.9)	6 (3.1)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	7 (13.2)	42 (79.2)	3 (5.7)	1 (1.9)	53 (100.0)
	専門学校I	9 (24.3)	28 (75.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		54 (19.2)	215 (76.5)	9 (3.2)	3 (1.1)	281 (100.0)
住宅に水洗トイレがない*2	専門学校G	26 (13.6)	160 (83.8)	3 (1.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	4 (7.5)	46 (86.8)	3 (5.7)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	9 (24.3)	28 (75.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		39 (13.9)	234 (83.3)	6 (2.1)	2 (0.7)	281 (100.0)
住宅に家族個々人の部屋がない*3	専門学校G	8 (4.2)	177 (92.7)	4 (2.1)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	1 (1.9)	51 (96.2)	1 (1.9)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	35 (94.6)	1 (2.7)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		10 (3.6)	263 (93.6)	6 (2.1)	2 (0.7)	281 (100.0)
家族に利用できる車がない	専門学校G	16 (8.4)	170 (89.0)	3 (1.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	1 (1.9)	51 (96.2)	1 (1.9)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	2 (5.4)	33 (89.2)	1 (2.7)	1 (2.7)	37 (100.0)
合計		19 (6.8)	254 (90.4)	5 (1.8)	3 (1.1)	281 (100.0)
1年に1度のレジャーや旅行もできないほど金銭的余裕がない	専門学校G	32 (16.8)	149 (78.0)	8 (4.2)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	4 (7.5)	44 (83.0)	5 (9.4)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	9 (24.3)	28 (75.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		45 (16.0)	221 (78.6)	13 (4.6)	2 (0.7)	281 (100.0)
緊急時に必要な最低限の貯蓄もない	専門学校G	62 (32.5)	114 (59.7)	13 (6.8)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	16 (30.2)	32 (60.4)	5 (9.4)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	20 (54.1)	14 (37.8)	3 (8.1)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		98 (34.9)	160 (56.9)	21 (7.5)	2 (0.7)	281 (100.0)
若者が高校を卒業していない	専門学校G	11 (5.8)	169 (88.5)	9 (4.7)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	0 (0.0)	49 (92.5)	4 (7.5)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	34 (91.9)	2 (5.4)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		12 (4.3)	252 (89.7)	15 (5.3)	2 (0.7)	281 (100.0)
読み書きに不自由がある	専門学校G	27 (14.1)	148 (77.5)	14 (7.3)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	7 (13.2)	42 (79.2)	4 (7.5)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	9 (24.3)	24 (64.9)	4 (10.8)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		43 (15.3)	214 (76.2)	22 (7.8)	2 (0.7)	281 (100.0)
安定した仕事を持っていない	専門学校G	22 (11.5)	162 (84.8)	5 (2.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	5 (9.4)	43 (81.1)	5 (9.4)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	5 (13.5)	30 (81.1)	2 (5.4)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		32 (11.4)	235 (83.6)	12 (4.3)	2 (0.7)	281 (100.0)
健康的な食生活ができていない	専門学校G	89 (46.6)	93 (48.7)	7 (3.7)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	16 (30.2)	36 (67.9)	1 (1.9)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	19 (51.4)	18 (48.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		124 (44.1)	147 (52.3)	8 (2.8)	2 (0.7)	281 (100.0)

質問事項	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
医療機関に必要なときにかかれない	専門学校G	135 (70.7)	44 (23.0)	10 (5.2)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	34 (64.2)	17 (32.1)	2 (3.8)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	29 (78.4)	6 (16.2)	2 (5.4)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		198 (70.5)	67 (23.8)	14 (5.0)	2 (0.7)	281 (100.0)
社会福祉サービスが必要なときに受けられない	専門学校G	80 (41.9)	82 (42.9)	27 (14.1)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	20 (37.7)	28 (52.8)	5 (9.4)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	17 (45.9)	17 (45.9)	3 (8.1)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		117 (41.6)	127 (45.2)	35 (12.5)	2 (0.7)	281 (100.0)
隣人と良い関係にない	専門学校G	14 (7.3)	163 (85.3)	12 (6.3)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	3 (5.7)	47 (88.7)	3 (5.7)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	34 (91.9)	2 (5.4)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		18 (6.4)	244 (86.8)	17 (6.0)	2 (0.7)	281 (100.0)
友人や家族と外出を楽しむ機会がほとんどない	専門学校G	21 (11.0)	152 (79.6)	16 (8.4)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	6 (11.3)	44 (83.0)	3 (5.7)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	7 (18.9)	26 (70.3)	4 (10.8)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		34 (12.1)	222 (79.0)	23 (8.2)	2 (0.7)	281 (100.0)
他者や社会に役立つことができていると感じないと感じる	専門学校G	25 (13.1)	140 (73.3)	24 (12.6)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	5 (9.4)	42 (79.2)	6 (11.3)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	4 (10.8)	30 (81.1)	3 (8.1)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		34 (12.1)	212 (75.4)	33 (11.7)	2 (0.7)	281 (100.0)
他者や社会に認められていないと感じる	専門学校G	27 (14.1)	129 (67.5)	33 (17.3)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	5 (9.4)	39 (73.6)	8 (15.1)	1 (1.9)	53 (100.0)
	専門学校I	2 (5.4)	32 (86.5)	3 (8.1)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		34 (12.1)	200 (71.2)	44 (15.7)	3 (1.1)	281 (100.0)
何らかの組織や集団あるいは地域とほとんどつながりがない	専門学校G	39 (20.4)	122 (63.9)	28 (14.7)	2 (1.0)	191 (100.0)
	専門学校H	6 (11.3)	38 (71.7)	9 (17.0)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	4 (10.8)	27 (73.0)	6 (16.2)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		49 (17.4)	187 (66.5)	43 (15.3)	2 (0.7)	281 (100.0)
他者から言われたままに生きていると感じる	専門学校G	48 (25.1)	107 (56.0)	33 (17.3)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	9 (17.0)	36 (67.9)	8 (15.1)	0 (0.0)	53 (100.0)
	専門学校I	9 (24.3)	24 (64.9)	4 (10.8)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		66 (23.5)	167 (59.4)	45 (16.0)	3 (1.1)	281 (100.0)

- * 1 専門学校G及び専門学校Hについては設問が「住宅に暖房設備がない」
* 2 専門学校G及び専門学校Hについては設問が「住宅にお風呂がない」
* 3 専門学校G及び専門学校Hについては設問が「住宅に夫婦の寝室がない」

表5 なぜ人々が「貧困におちいる」のか、あるいは「貧困の中におかれる」のか

(単位 人、%)

質問事項	対象	はい	いいえ	無回答	合計
社会福祉予算等の削減	専門学校G	51 (26.7)	137 (71.7)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	8 (15.1)	42 (79.2)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	8 (21.6)	29 (78.4)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		67 (23.8)	208 (74.0)	6 (2.1)	281 (100.0)
隣近所の無関心の増加	専門学校G	16 (8.4)	172 (90.1)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	3 (5.7)	47 (7.0)	3 (5.7)	53 (18.3)
	専門学校I	1 (2.7)	36 (97.3)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		20 (7.1)	255 (90.7)	6 (2.1)	281 (100.0)
大きな病気やけがの不運	専門学校G	12 (6.3)	176 (92.1)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	5 (9.4)	45 (84.9)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	4 (10.8)	33 (89.2)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		21 (7.5)	254 (90.4)	6 (2.1)	281 (100.0)
家族のきずなの弱体化や 家族の解体	専門学校G	54 (28.3)	134 (70.2)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	10 (18.9)	40 (75.5)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	12 (32.4)	25 (67.6)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		76 (27.0)	199 (70.8)	6 (2.1)	281 (100.0)
親の貧困の子どもへの影 響*1	専門学校G	69 (36.1)	119 (62.3)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	20 (37.7)	30 (56.6)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	11 (29.7)	26 (70.3)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		100 (35.6)	175 (62.3)	6 (2.1)	281 (100.0)
社会の共同精神の欠如* 2	専門学校G	41 (21.5)	147 (77.0)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	10 (18.9)	40 (75.5)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	7 (18.9)	30 (81.1)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		58 (20.6)	217 (77.2)	6 (2.1)	281 (100.0)
アルコール中毒や薬物乱 用	専門学校G	22 (11.5)	166 (86.9)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	8 (15.1)	42 (79.2)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	7 (18.9)	30 (81.1)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		37 (13.2)	238 (84.7)	6 (2.1)	281 (100.0)
不況による解雇や長期失 業	専門学校G	122 (63.9)	65 (34.0)	4 (2.1)	191 (100.0)
	専門学校H	32 (60.4)	18 (34.0)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	22 (59.5)	15 (40.5)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		176 (62.6)	98 (34.9)	7 (2.5)	281 (100.0)
地域社会の衰退や環境悪 化*3	専門学校G	71 (37.2)	117 (61.3)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	21 (39.6)	29 (54.7)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	8 (21.6)	29 (78.4)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		100 (35.6)	175 (62.3)	6 (2.1)	281 (100.0)
将来の計画を立てないよ うな生活	専門学校G	38 (19.9)	150 (78.5)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	12 (22.6)	38 (71.7)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	10 (27.0)	27 (73.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		60 (21.4)	215 (76.5)	6 (2.1)	281 (100.0)
教育や学歴の不足	専門学校G	10 (5.2)	178 (93.2)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	2 (3.8)	48 (90.6)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	6 (16.2)	31 (83.8)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		18 (6.4)	257 (91.5)	6 (2.1)	281 (100.0)
努力や頑張りの不足	専門学校G	37 (19.4)	151 (79.1)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	13 (24.5)	37 (69.8)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	5 (13.5)	32 (86.5)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		55 (19.6)	220 (78.3)	6 (2.1)	281 (100.0)
子どもが多いこと	専門学校G	3 (1.6)	185 (96.9)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	2 (3.8)	48 (90.6)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	36 (97.3)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		6 (2.1)	269 (95.7)	6 (2.1)	281 (100.0)
外国人の不法滞在	専門学校G	10 (5.2)	178 (93.2)	3 (1.6)	191 (100.0)
	専門学校H	1 (1.9)	49 (92.5)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	36 (97.3)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		12 (4.3)	263 (93.6)	6 (2.1)	281 (100.0)

*1 専門学校G及び専門学校Hについては設問が「親から受け継ぐものがない」

*2 専門学校G及び専門学校Hについては設問が「社会の助け合いの意識が不足」

*3 専門学校G及び専門学校Hについては設問が「地域の産業の衰退」

表6 なぜ「貧困の中にある人々」「貧困の中におかれる人々」が存在するのか (単位 人、%)

対象	質問事項					合計
	その人たちが不運であり続けたから	その人たちの頑張りが足りなかったから	社会にたくさんのお金が不公平があるから	経済発展に伴う避けられない現象だから	無回答	
専門学校G	7 (3.7)	17 (8.9)	119 (62.3)	45 (23.6)	3 (1.6)	191 (100.0)
専門学校H	2 (3.8)	6 (11.3)	28 (52.8)	13 (24.5)	4 (7.5)	53 (100.0)
専門学校I	4 (10.8)	3 (8.1)	23 (62.2)	7 (18.9)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計	13 (4.6)	26 (9.3)	170 (60.5)	65 (23.1)	7 (2.5)	281 (100.0)

表7 最近の日本社会に関して最も近い意見はどれか (単位 人、%)

対象	質問事項				合計
	裕福な人々よりはるかに裕福に、貧困な人々よりはるかに貧困になっている	裕福な人々と貧困な人々の生活格差はだんだん少なくなってきている	どちらともいえない	無回答	
専門学校G	117 (61.3)	9 (4.7)	60 (31.4)	5 (2.6)	191 (100.0)
専門学校H	20 (37.7)	8 (15.1)	21 (39.6)	4 (7.5)	53 (100.0)
専門学校I	19 (51.4)	4 (10.8)	14 (37.8)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計	156 (55.5)	21 (7.5)	95 (33.8)	9 (3.2)	281 (100.0)

表8 「貧困から抜け出す」方法として下記の意見はどう思うか (単位 人、%)

質問事項	対象	強く思う	思う	多少思う	思わない	わからない	無回答	合計
我慢して節約した生活を送り、人の指以上働くなど、結局は個人の頑張りなどの努力が「貧困から抜け出す」早道だ	専門学校G	15 (7.9)	44 (23.0)	85 (44.5)	32 (16.8)	11 (5.8)	4 (2.1)	191 (100.0)
	専門学校H	1 (1.9)	12 (22.6)	19 (35.8)	11 (20.8)	6 (11.3)	4 (7.5)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	14 (37.8)	18 (48.6)	4 (10.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		17 (6.0)	70 (24.9)	122 (43.4)	47 (16.7)	17 (6.0)	8 (2.8)	281 (100.0)
もっとやり直しのできる機会を増やすなど政策が採られることが「貧困から抜け出す」ことを促進する	専門学校G	16 (8.4)	36 (18.8)	77 (40.3)	44 (23.0)	14 (7.3)	4 (2.1)	191 (100.0)
	専門学校H	3 (5.7)	6 (11.3)	19 (35.8)	14 (26.4)	8 (15.1)	3 (5.7)	53 (100.0)
	専門学校I	1 (2.7)	11 (29.7)	21 (56.8)	4 (10.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計		20 (7.1)	53 (18.9)	117 (41.6)	62 (22.1)	22 (7.8)	7 (2.5)	281 (100.0)

表9 生活保護制度は必要な人に利用されていると思うか、また自立に向けた効果がある (単位 人、%)

対象	必要なすべての人に利用されている	必要な人々に利用されていない場合が多い	必要でない人に利用されている	わからない	無回答	合計
専門学校G	7 (3.7)	88 (46.1)	28 (14.7)	59 (30.9)	9 (4.7)	191 (100.0)
専門学校H	1 (1.9)	22 (41.5)	9 (17.0)	15 (28.3)	6 (11.3)	53 (100.0)
専門学校I	2 (5.4)	19 (51.4)	5 (13.5)	11 (29.7)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計	10 (3.6)	129 (45.9)	42 (14.9)	85 (30.2)	15 (5.3)	281 (100.0)

対象	効果がある	依存精神を助長している	効果と同時に依存精神も両方持っている	わからない	無回答	合計
専門学校G	13 (6.8)	19 (9.9)	58 (30.4)	87 (45.5)	14 (7.3)	191 (100.0)
専門学校H	1 (1.9)	3 (5.7)	17 (32.1)	23 (43.4)	9 (17.0)	53 (100.0)
専門学校I	3 (8.1)	3 (8.1)	16 (43.2)	15 (40.5)	0 (0.0)	37 (100.0)
合計	17 (6.0)	25 (8.9)	91 (32.4)	125 (44.5)	23 (8.2)	281 (100.0)

表 10-a 性別 (単位 人、%)

対象	男性	女性	無回答	合計
専門学校G	35 (18.3)	146 (76.4)	10 (5.2)	191 (100.0)
専門学校H	0 (0.0)	49 (92.5)	4 (7.5)	53 (100.0)
専門学校I	0 (0.0)	24 (64.9)	13 (35.1)	37 (100.0)
合計	35 (12.5)	219 (77.9)	27 (9.6)	281 (100.0)

表 10-b 年齢 (単位 人、%)

対象	30歳未満	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	無回答	合計
専門学校I	22 (59.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (40.5)	37 (100.0)
合計	22 (59.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (40.5)	37 (100.0)

対象	20歳未満	20-24歳	25-29歳	30歳以上	無回答	合計
専門学校G	6 (3.1)	171 (89.5)	5 (2.6)	0 (0.0)	9 (4.7)	191 (100.0)
専門学校H	37 (69.8)	12 (22.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (7.5)	53 (100.0)
合計	43 (17.6)	183 (75.0)	5 (2.0)	0 (0.0)	13 (5.3)	244 (100.0)

C調査

表1 「貧困」という言葉を聞いて以下の内容を思い浮かべますか (単位:人、%)

質問事項	対象	はい	いいえ	無回答	合計
戦前や敗戦直後に多く見られた日本の生活	民生委員(東京・Y地区)	295 (72.7)	92 (22.7)	19 (4.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	296 (76.1)	68 (17.5)	25 (6.4)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	264 (71.9)	78 (21.3)	25 (6.8)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	166 (71.9)	43 (18.6)	22 (9.5)	231 (100.0)
	児相関係職員	64 (70.3)	19 (20.9)	8 (8.8)	91 (100.0)
	司法書士	39 (61.9)	23 (36.5)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	1124 (72.7)	323 (20.9)	100 (6.5)	1547 (100.0)
ホームレスの人の生活*1	民生委員(東京・Y地区)	204 (50.2)	183 (45.1)	19 (4.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	194 (49.9)	170 (43.7)	25 (6.4)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	168 (45.8)	170 (46.3)	29 (7.9)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	76 (32.9)	124 (53.7)	31 (13.4)	231 (100.0)
	児相関係職員	40 (44.0)	41 (45.1)	10 (11.0)	91 (100.0)
	司法書士	41 (65.1)	21 (33.3)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	723 (46.7)	709 (45.8)	115 (7.4)	1547 (100.0)
生活保護受給世帯の生活*1	民生委員(東京・Y地区)	164 (40.4)	214 (52.7)	28 (6.9)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	140 (36.0)	214 (55.0)	35 (9.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	125 (34.1)	204 (55.6)	38 (10.4)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	76 (32.9)	124 (53.7)	31 (13.4)	231 (100.0)
	児相関係職員	16 (17.6)	66 (72.5)	9 (9.9)	91 (100.0)
	司法書士	41 (65.1)	21 (33.3)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	562 (36.3)	843 (54.5)	142 (9.2)	1547 (100.0)
テレビや新聞等で知る途上国や戦災国の生活	民生委員(東京・Y地区)	364 (89.7)	25 (6.2)	17 (4.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	341 (87.7)	24 (6.2)	24 (6.2)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	307 (83.7)	36 (9.8)	24 (6.5)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	172 (74.5)	37 (16.0)	22 (9.5)	231 (100.0)
	児相関係職員	76 (83.5)	10 (11.0)	5 (5.5)	91 (100.0)
	司法書士	48 (76.2)	14 (22.2)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	1308 (84.6)	146 (9.4)	93 (6.0)	1547 (100.0)
過去あるいは現在の自分自身の生活	民生委員(東京・Y地区)	42 (10.3)	341 (84.0)	23 (5.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	44 (11.3)	318 (81.7)	27 (6.9)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	41 (11.2)	293 (79.8)	33 (9.0)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	31 (13.4)	166 (71.9)	34 (14.7)	231 (100.0)
	児相関係職員	8 (8.8)	75 (82.4)	8 (8.8)	91 (100.0)
	司法書士	13 (20.6)	49 (77.8)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	179 (11.6)	1242 (80.3)	126 (8.1)	1547 (100.0)
政治家や国民の精神的な意味での貧しさ	民生委員(東京・Y地区)	243 (59.9)	139 (34.2)	24 (5.9)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	221 (56.8)	139 (35.7)	29 (7.5)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	197 (53.7)	137 (37.3)	33 (9.0)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	103 (44.6)	96 (41.6)	32 (13.9)	231 (100.0)
	児相関係職員	51 (56.0)	31 (34.1)	9 (9.9)	91 (100.0)
	司法書士	21 (33.3)	41 (65.1)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	836 (54.0)	583 (37.7)	128 (8.3)	1547 (100.0)
「清貧の思想」「名もなく貧しく美しい」といった生き方	民生委員(東京・Y地区)	61 (15.0)	314 (77.3)	31 (7.6)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	66 (17.0)	289 (74.3)	34 (8.7)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	56 (15.3)	274 (74.7)	37 (10.1)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	36 (15.6)	154 (66.7)	41 (17.7)	231 (100.0)
	児相関係職員	11 (12.1)	66 (72.5)	14 (15.4)	91 (100.0)
	司法書士	2 (3.2)	60 (95.2)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	232 (15.0)	1157 (74.8)	158 (10.2)	1547 (100.0)

*1 民生委員・社協職員(北海道)、司法書士については設問が「ホームレスの人々や生活保護世帯」

表2 下記のような状態にある場合、それを「貧困の中にある」「貧困の中におかれている」と考えますか
(単位：人、%)

質問事項	対象	はい	いいえ	わからない	無回答	合計
ホームレスとして路上生活をしている	民生委員(東京・Y地区)	142 (35.0)	141 (34.7)	109 (26.8)	14 (3.4)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	147 (37.8)	135 (34.7)	93 (23.9)	14 (3.6)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	129 (35.1)	129 (35.1)	88 (24.0)	21 (5.7)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	57 (24.7)	117 (50.6)	46 (19.9)	11 (4.8)	231 (100.0)
	児相関係職員	40 (44.0)	29 (31.9)	15 (16.5)	7 (7.7)	91 (100.0)
	司法書士	33 (52.4)	17 (27.0)	12 (19.0)	1 (1.6)	63 (100.0)
	合計	548 (35.4)	568 (36.7)	363 (23.5)	68 (4.4)	1547 (100.0)
1年以上失業状態で生活している	民生委員(東京・Y地区)	121 (29.8)	149 (36.7)	123 (30.3)	13 (3.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	120 (30.8)	153 (39.3)	102 (26.2)	14 (3.6)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	99 (27.0)	148 (40.3)	86 (23.4)	34 (9.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	57 (24.7)	110 (47.6)	43 (18.6)	21 (9.1)	231 (100.0)
	児相関係職員	30 (33.0)	37 (40.7)	15 (16.5)	9 (9.9)	91 (100.0)
	司法書士	18 (28.6)	31 (49.2)	14 (22.2)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	445 (28.8)	628 (40.6)	383 (24.8)	91 (5.9)	1547 (100.0)
生活保護を受給して生活している	民生委員(東京・Y地区)	154 (37.9)	158 (38.9)	80 (19.7)	14 (3.4)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	105 (27.0)	195 (50.1)	74 (19.0)	15 (3.9)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	107 (29.2)	152 (41.4)	76 (20.7)	32 (8.7)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	37 (16.0)	147 (63.6)	26 (11.3)	21 (9.1)	231 (100.0)
	児相関係職員	16 (17.6)	61 (67.0)	7 (7.7)	7 (7.7)	91 (100.0)
	司法書士	22 (34.9)	33 (52.4)	8 (12.7)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	441 (28.5)	746 (48.2)	271 (17.5)	89 (5.8)	1547 (100.0)
サラ金等からお金を借りて生活している	民生委員(東京・Y地区)	58 (14.3)	240 (59.1)	91 (22.4)	17 (4.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	41 (10.5)	247 (63.5)	84 (21.6)	17 (4.4)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	52 (14.2)	206 (56.1)	79 (21.5)	30 (8.2)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	30 (13.0)	144 (62.3)	37 (16.0)	20 (8.7)	231 (100.0)
	児相関係職員	17 (18.7)	58 (63.7)	10 (11.0)	6 (6.6)	91 (100.0)
	司法書士	19 (30.2)	33 (52.4)	11 (17.5)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	217 (14.0)	928 (60.0)	312 (20.2)	90 (5.8)	1547 (100.0)
ローンを抱えた生活をしている	民生委員(東京・Y地区)	23 (5.7)	299 (73.6)	68 (16.7)	16 (3.9)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	11 (2.8)	297 (76.3)	66 (17.0)	15 (3.9)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	19 (5.2)	250 (68.1)	66 (18.0)	32 (8.7)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	15 (6.5)	170 (73.6)	26 (11.3)	20 (8.7)	231 (100.0)
	児相関係職員	5 (5.5)	72 (79.1)	8 (8.8)	6 (6.6)	91 (100.0)
	司法書士	1 (1.6)	50 (79.4)	12 (19.0)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	74 (4.8)	1138 (73.6)	246 (15.9)	89 (5.8)	1547 (100.0)
生涯の大半を施設で暮らしている	民生委員(東京・Y地区)	91 (22.4)	176 (43.3)	123 (30.3)	16 (3.9)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	76 (19.5)	198 (50.9)	100 (25.7)	15 (3.9)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	66 (18.0)	153 (41.7)	117 (31.9)	31 (8.4)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	19 (8.2)	148 (64.1)	41 (17.7)	23 (10.0)	231 (100.0)
	児相関係職員	4 (4.4)	64 (70.3)	16 (17.6)	7 (7.7)	91 (100.0)
	司法書士	6 (9.5)	45 (71.4)	12 (19.0)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	262 (16.9)	784 (50.7)	409 (26.4)	92 (5.9)	1547 (100.0)
高齢者用の介護施設などで生活している	民生委員(東京・Y地区)	23 (5.7)	290 (71.4)	78 (19.2)	15 (3.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	19 (4.9)	298 (76.6)	53 (13.6)	19 (4.9)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	16 (4.4)	255 (69.5)	66 (18.0)	30 (8.2)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	4 (1.7)	184 (79.7)	20 (8.7)	23 (10.0)	231 (100.0)
	児相関係職員	1 (1.1)	75 (82.4)	7 (7.7)	8 (8.8)	91 (100.0)
	司法書士	3 (4.8)	53 (84.1)	7 (11.1)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	66 (4.3)	1155 (74.7)	231 (14.9)	95 (6.1)	1547 (100.0)
高齢者がひとりで地域で生活している	民生委員(東京・Y地区)	21 (5.2)	307 (75.6)	62 (15.3)	16 (3.9)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	20 (5.1)	302 (77.6)	51 (13.1)	16 (4.1)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	20 (5.4)	252 (68.7)	62 (16.9)	33 (9.0)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	10 (4.3)	182 (78.8)	13 (5.6)	26 (11.3)	231 (100.0)
	児相関係職員	2 (2.2)	74 (81.3)	7 (7.7)	8 (8.8)	91 (100.0)
	司法書士	5 (7.9)	51 (81.0)	7 (11.1)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	78 (5.0)	1168 (75.5)	202 (13.1)	99 (6.4)	1547 (100.0)

質問事項	対象	はい	いいえ	わからない	無回答	合計
大きな身体障害を持って生活している	民生委員(東京・Y地区)	49 (12.1)	255 (62.8)	86 (21.2)	16 (3.9)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	41 (10.5)	249 (64.0)	81 (20.8)	18 (4.6)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	44 (12.0)	213 (58.0)	79 (21.5)	31 (8.4)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	19 (8.2)	155 (67.1)	33 (14.3)	24 (10.4)	231 (100.0)
	児関係職員	6 (6.6)	67 (73.6)	9 (9.9)	9 (9.9)	91 (100.0)
	司法書士	5 (7.9)	48 (76.2)	10 (15.9)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	164 (10.6)	987 (63.8)	298 (19.3)	98 (6.3)	1547 (100.0)
健康保険がない生活をしている	民生委員(東京・Y地区)	118 (29.1)	136 (33.5)	139 (34.2)	13 (3.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	91 (23.4)	162 (41.6)	121 (31.1)	15 (3.9)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	80 (21.8)	137 (37.3)	118 (32.2)	32 (8.7)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	50 (21.6)	117 (50.6)	42 (18.2)	22 (9.5)	231 (100.0)
	児関係職員	22 (24.2)	40 (44.0)	21 (23.1)	8 (8.8)	91 (100.0)
	司法書士	18 (28.6)	32 (50.8)	13 (20.6)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	379 (24.5)	624 (40.3)	454 (29.3)	90 (5.8)	1547 (100.0)
非合法滞在者として生活している*1	民生委員(東京・Y地区)	69 (17.0)	145 (35.7)	176 (43.3)	16 (3.9)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	59 (15.2)	150 (38.6)	166 (42.7)	14 (3.6)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	69 (18.8)	135 (36.8)	132 (36.0)	31 (8.4)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	31 (13.4)	106 (45.9)	72 (31.2)	22 (9.5)	231 (100.0)
	児関係職員	18 (19.8)	37 (40.7)	30 (33.0)	6 (6.6)	91 (100.0)
	司法書士	11 (17.5)	33 (52.4)	19 (30.2)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	257 (16.6)	606 (39.2)	595 (38.5)	89 (5.8)	1547 (100.0)

*1 児関係職員については設問が「外国人で不法滞在者として生活している」

表3 身近なところに「貧困の中にある」「貧困の中におかれている」と思われる人はいますか

(単位:人、%)

対象	多い	かなり	多少	いない	わからない	無回答	合計
民生委員(東京・Y地区)	2 (0.5)	6 (1.5)	86 (21.2)	227 (55.9)	75 (18.5)	10 (2.5)	406 (100.0)
民生委員(東京・S地区)	2 (0.5)	6 (1.5)	92 (23.7)	226 (58.1)	58 (14.9)	5 (1.3)	389 (100.0)
民生委員(東京・T地区)	5 (1.4)	8 (2.2)	87 (23.7)	189 (51.5)	61 (16.6)	17 (4.6)	367 (100.0)
民生委員・社協職員(北海道)	7 (3.0)	19 (8.2)	65 (28.1)	106 (45.9)	24 (10.4)	10 (4.3)	231 (100.0)
児関係職員	2 (2.2)	3 (3.3)	28 (30.8)	44 (48.4)	9 (9.9)	5 (5.5)	91 (100.0)
司法書士	4 (6.3)	4 (6.3)	24 (38.1)	26 (41.3)	5 (7.9)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	22 (1.4)	46 (3.0)	382 (24.7)	818 (52.9)	232 (15.0)	1547 (100.0)

表4 現代の日本の社会で「貧困とはいかなる状態のこと」をいうのか

(単位:人、%)

質問事項	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
水道と電気及びガスが利用できない	民生委員(東京・Y地区)	202 (49.8)	176 (43.3)	19 (4.7)	9 (2.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	174 (44.7)	189 (48.6)	19 (4.9)	7 (1.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	173 (47.1)	163 (44.4)	18 (4.9)	13 (3.5)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	76 (32.9)	136 (58.9)	8 (3.5)	11 (4.8)	231 (100.0)
	児関係職員	46 (50.5)	40 (44.0)	2 (2.2)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	36 (57.1)	26 (41.3)	1 (1.6)	0 (0.0)	63 (100.0)
		合計	707 (45.7)	730 (47.2)	67 (4.3)	43 (2.8)
住宅に冷暖房設備がない*1	民生委員(東京・Y地区)	71 (17.5)	312 (76.8)	18 (4.4)	5 (1.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	45 (11.6)	325 (83.5)	17 (4.4)	2 (0.5)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	48 (13.1)	291 (79.3)	17 (4.6)	11 (3.0)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	47 (20.3)	162 (70.1)	8 (3.5)	14 (6.1)	231 (100.0)
	児関係職員	23 (25.3)	61 (67.0)	4 (4.4)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	27 (42.9)	31 (49.2)	5 (7.9)	0 (0.0)	63 (100.0)
		合計	261 (16.9)	1182 (76.4)	69 (4.5)	35 (2.3)
住宅に水洗トイレがない*2	民生委員(東京・Y地区)	54 (13.3)	327 (80.5)	20 (4.9)	5 (1.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	32 (8.2)	335 (86.1)	19 (4.9)	3 (0.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	24 (6.5)	315 (85.8)	17 (4.6)	11 (3.0)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	5 (2.2)	211 (91.3)	2 (0.9)	13 (5.6)	231 (100.0)
	児関係職員	3 (3.3)	83 (91.2)	2 (2.2)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	7 (11.1)	55 (87.3)	1 (1.6)	0 (0.0)	63 (100.0)
		合計	125 (8.1)	1326 (85.7)	61 (3.9)	35 (2.3)

質問事項	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
住宅に家族各々人の部屋がない*3	民生委員(東京・Y地区)	4 (1.0)	386 (95.1)	11 (2.7)	5 (1.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	5 (1.3)	365 (93.8)	15 (3.9)	4 (1.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	6 (1.6)	342 (93.2)	7 (1.9)	12 (3.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	2 (0.9)	212 (91.8)	4 (1.7)	13 (5.6)	231 (100.0)
	児関係職員	1 (1.1)	87 (95.6)	0 (0.0)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	3 (4.8)	58 (92.1)	2 (3.2)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	21 (1.4)	1450 (93.7)	39 (2.5)	37 (2.4)	1547 (100.0)
家族に利用できる車がない	民生委員(東京・Y地区)	0 (0.0)	390 (96.1)	10 (2.5)	6 (1.5)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	2 (0.5)	373 (95.9)	11 (2.8)	3 (0.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	2 (0.5)	342 (93.2)	10 (2.7)	13 (3.5)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	2 (0.9)	211 (91.3)	5 (2.2)	13 (5.6)	231 (100.0)
	児関係職員	0 (0.0)	85 (93.4)	3 (3.3)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	3 (4.8)	59 (93.7)	1 (1.6)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	9 (0.6)	1460 (94.4)	40 (2.6)	38 (2.5)	1547 (100.0)
1年に1度のレジャーや旅行もできないほど金銭的余裕がない	民生委員(東京・Y地区)	36 (8.9)	333 (82.0)	32 (7.9)	5 (1.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	32 (8.2)	325 (83.5)	28 (7.2)	4 (1.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	48 (13.1)	274 (74.7)	33 (9.0)	12 (3.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	39 (16.9)	159 (68.8)	19 (8.2)	14 (6.1)	231 (100.0)
	児関係職員	7 (7.7)	74 (81.3)	6 (6.6)	4 (4.4)	91 (100.0)
	司法書士	12 (19.0)	45 (71.4)	6 (9.5)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	174 (11.2)	1210 (78.2)	124 (8.0)	39 (2.5)	1547 (100.0)
緊急時に必要な最低限の貯蓄もない	民生委員(東京・Y地区)	131 (32.3)	212 (52.2)	58 (14.3)	5 (1.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	108 (27.8)	228 (58.6)	49 (12.6)	4 (1.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	145 (39.5)	184 (50.1)	28 (7.6)	10 (2.7)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	80 (34.6)	123 (53.2)	14 (6.1)	14 (6.1)	231 (100.0)
	児関係職員	36 (39.6)	49 (53.8)	2 (2.2)	4 (4.4)	91 (100.0)
	司法書士	29 (46.0)	32 (50.8)	2 (3.2)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	529 (34.2)	828 (53.5)	153 (9.9)	37 (2.4)	1547 (100.0)
若者が高校を卒業していない	民生委員(東京・Y地区)	11 (2.7)	371 (91.4)	17 (4.2)	7 (1.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	3 (0.8)	365 (93.8)	19 (4.9)	2 (0.5)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	14 (3.8)	333 (90.7)	9 (2.5)	11 (3.0)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	13 (5.6)	193 (83.5)	11 (4.8)	14 (6.1)	231 (100.0)
	児関係職員	6 (6.6)	79 (86.8)	3 (3.3)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	3 (4.8)	60 (95.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	50 (3.2)	1401 (90.6)	59 (3.8)	37 (2.4)	1547 (100.0)
読み書きに不自由がある	民生委員(東京・Y地区)	104 (25.6)	248 (61.1)	48 (11.8)	6 (1.5)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	77 (19.8)	243 (62.5)	66 (17.0)	3 (0.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	71 (19.3)	233 (63.5)	51 (13.9)	12 (3.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	39 (16.9)	151 (65.4)	25 (10.8)	16 (6.9)	231 (100.0)
	児関係職員	16 (17.6)	67 (73.6)	4 (4.4)	4 (4.4)	91 (100.0)
	司法書士	17 (27.0)	39 (61.9)	7 (11.1)	0 (0.0)	63 (100.0)
	合計	324 (20.9)	981 (63.4)	201 (13.0)	41 (2.7)	1547 (100.0)
安定した仕事を持っていない	民生委員(東京・Y地区)	33 (8.1)	327 (80.5)	40 (9.9)	6 (1.5)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	48 (12.3)	303 (77.9)	35 (9.0)	3 (0.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	46 (12.5)	287 (78.2)	22 (6.0)	12 (3.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	21 (9.1)	174 (75.3)	21 (9.1)	15 (6.5)	231 (100.0)
	児関係職員	14 (15.4)	71 (78.0)	3 (3.3)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	6 (9.5)	54 (85.7)	1 (1.6)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	168 (10.9)	1216 (78.6)	122 (7.9)	41 (2.7)	1547 (100.0)
健康的な食生活ができていない	民生委員(東京・Y地区)	84 (20.7)	269 (66.3)	44 (10.8)	9 (2.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	78 (20.1)	265 (68.1)	43 (11.1)	3 (0.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	100 (27.2)	219 (59.7)	34 (9.3)	14 (3.8)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	51 (22.1)	154 (66.7)	11 (4.8)	15 (6.5)	231 (100.0)
	児関係職員	21 (23.1)	63 (69.2)	2 (2.2)	5 (5.5)	91 (100.0)
	司法書士	24 (38.1)	34 (54.0)	3 (4.8)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	358 (23.1)	1004 (64.9)	137 (8.9)	48 (3.1)	1547 (100.0)

質問事項	対象	貧困である	必ずしも貧困とはいえない	わからない	無回答	合計
医療機関に必要なときにかかれない	民生委員(東京・Y地区)	277 (68.2)	83 (20.4)	42 (10.3)	4 (1.0)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	231 (59.4)	108 (27.8)	46 (11.8)	4 (1.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	237 (64.6)	94 (25.6)	25 (6.8)	11 (3.0)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	121 (52.4)	77 (33.3)	18 (7.8)	15 (6.5)	231 (100.0)
	児関係職員	58 (63.7)	26 (28.6)	3 (3.3)	4 (4.4)	91 (100.0)
	司法書士	45 (71.4)	15 (23.8)	1 (1.6)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	969 (62.6)	403 (26.1)	135 (8.7)	40 (2.6)	1547 (100.0)
社会福祉サービスを必要ときに受けられない	民生委員(東京・Y地区)	141 (34.7)	174 (42.9)	84 (20.7)	7 (1.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	103 (26.5)	201 (51.7)	81 (20.8)	4 (1.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	114 (31.1)	171 (46.6)	68 (18.5)	14 (3.8)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	50 (21.6)	142 (61.5)	23 (10.0)	16 (6.9)	231 (100.0)
	児関係職員	25 (27.5)	54 (59.3)	9 (9.9)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	33 (52.4)	21 (33.3)	7 (11.1)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	466 (30.1)	763 (49.3)	272 (17.6)	46 (3.0)	1547 (100.0)
隣人と良い関係にない	民生委員(東京・Y地区)	52 (12.8)	283 (69.7)	64 (15.8)	7 (1.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	53 (13.6)	268 (68.9)	64 (16.5)	4 (1.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	49 (13.4)	247 (67.3)	58 (15.8)	13 (3.5)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	20 (8.7)	168 (72.7)	28 (12.1)	15 (6.5)	231 (100.0)
	児関係職員	11 (12.1)	68 (74.7)	9 (9.9)	3 (3.3)	91 (100.0)
	司法書士	8 (12.7)	48 (76.2)	5 (7.9)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	193 (12.5)	1082 (69.9)	228 (14.7)	44 (2.8)	1547 (100.0)
友人や家族と外出を楽しむ機会がほとんどない	民生委員(東京・Y地区)	41 (10.1)	315 (77.6)	44 (10.8)	6 (1.5)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	46 (11.8)	297 (76.3)	43 (11.1)	3 (0.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	30 (8.2)	298 (81.2)	27 (7.4)	12 (3.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	14 (6.1)	186 (80.5)	17 (7.4)	14 (6.1)	231 (100.0)
	児関係職員	14 (15.4)	68 (74.7)	5 (5.5)	4 (4.4)	91 (100.0)
	司法書士	10 (15.9)	47 (74.6)	4 (6.3)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	155 (10.0)	1211 (78.3)	140 (9.0)	41 (2.7)	1547 (100.0)
他者や社会に役立つことができていないと感じる	民生委員(東京・Y地区)	70 (17.2)	258 (63.5)	70 (17.2)	8 (2.0)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	57 (14.7)	269 (69.2)	59 (15.2)	4 (1.0)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	64 (17.4)	243 (66.2)	45 (12.3)	15 (4.1)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	30 (13.0)	154 (66.7)	32 (13.9)	15 (6.5)	231 (100.0)
	児関係職員	21 (23.1)	61 (67.0)	5 (5.5)	4 (4.4)	91 (100.0)
	司法書士	15 (23.8)	34 (54.0)	12 (19.0)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	257 (16.6)	1019 (65.9)	223 (14.4)	48 (3.1)	1547 (100.0)
他者や社会に認められていないと感じる	民生委員(東京・Y地区)	107 (26.4)	230 (56.7)	62 (15.3)	7 (1.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	92 (23.7)	227 (58.4)	63 (16.2)	7 (1.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	72 (19.6)	218 (59.4)	58 (15.8)	19 (5.2)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	40 (17.3)	151 (65.4)	24 (10.4)	16 (6.9)	231 (100.0)
	児関係職員	21 (23.1)	55 (60.4)	11 (12.1)	4 (4.4)	91 (100.0)
	司法書士	17 (27.0)	33 (52.4)	11 (17.5)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	349 (22.6)	914 (59.1)	229 (14.8)	55 (3.6)	1547 (100.0)
何らかの組織や集団あるいは地域とほとんどつながりがない	民生委員(東京・Y地区)	93 (22.9)	235 (57.9)	72 (17.7)	6 (1.5)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	86 (22.1)	240 (61.7)	60 (15.4)	3 (0.8)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	81 (22.1)	222 (60.5)	52 (14.2)	12 (3.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	34 (14.7)	149 (64.5)	33 (14.3)	15 (6.5)	231 (100.0)
	児関係職員	18 (19.8)	55 (60.4)	13 (14.3)	5 (5.5)	91 (100.0)
	司法書士	10 (15.9)	42 (66.7)	9 (14.3)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	322 (20.8)	943 (61.0)	239 (15.4)	43 (2.8)	1547 (100.0)
他者から言われたままに生きていると感じる*4	民生委員(東京・Y地区)	101 (24.9)	209 (51.5)	85 (20.9)	11 (2.7)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	91 (23.4)	199 (51.2)	89 (22.9)	10 (2.6)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	93 (25.3)	181 (49.3)	77 (21.0)	16 (4.4)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	42 (18.2)	135 (58.4)	38 (16.5)	16 (6.9)	231 (100.0)
	児関係職員					
	司法書士	18 (28.6)	33 (52.4)	10 (15.9)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	345 (23.7)	757 (52.0)	299 (20.5)	55 (3.8)	1456 (100.0)

*1 児関係職員、司法書士については設問が「住宅に暖房設備がない」

*2 児関係職員、司法書士については設問が「住宅にお風呂がない」

*3 児関係職員、司法書士については設問が「住宅に夫婦の寝室がない」

*4 児関係職員については、該当データなし

表5 なぜ人々が「貧困におちいる」のか、あるいは「貧困の中におかれる」のか

(単位：人、%)

質問事項	対象	はい	いいえ	無回答	合計
社会福祉予算等の削減	民生委員・社協職員(北海道)	30 (13.0)	185 (80.1)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	16 (25.4)	45 (71.4)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	46 (15.6)	230 (78.2)	18 (6.1)	294 (100.0)
隣近所の無関心の増加	民生委員・社協職員(北海道)	49 (21.2)	166 (71.9)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	7 (11.1)	54 (85.7)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	56 (19.0)	220 (74.8)	18 (6.1)	294 (100.0)
大きな病気やけがの不運	民生委員・社協職員(北海道)	58 (25.1)	157 (68.0)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	17 (27.0)	44 (69.8)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	75 (25.5)	201 (68.4)	18 (6.1)	294 (100.0)
家族のきずなの弱体化 や家族の解体	民生委員・社協職員(北海道)	83 (35.9)	132 (57.1)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	10 (15.9)	51 (81.0)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	93 (31.6)	183 (62.2)	18 (6.1)	294 (100.0)
親の貧困の子どもへの影響	民生委員・社協職員(北海道)	50 (21.6)	165 (71.4)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	17 (27.0)	44 (69.8)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	67 (22.8)	209 (71.1)	18 (6.1)	294 (100.0)
社会の共同精神の欠如	民生委員・社協職員(北海道)	37 (16.0)	178 (77.1)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	18 (28.6)	43 (68.3)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	55 (18.7)	221 (75.2)	18 (6.1)	294 (100.0)
アルコール中毒や薬物 乱用	民生委員・社協職員(北海道)	23 (10.0)	192 (83.1)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	10 (15.9)	51 (81.0)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	33 (11.2)	243 (82.7)	18 (6.1)	294 (100.0)
不況による解雇や長期 失業	民生委員・社協職員(北海道)	107 (46.3)	108 (46.8)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	33 (52.4)	28 (44.4)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	140 (47.6)	136 (46.3)	18 (6.1)	294 (100.0)
地域社会の衰退や環境 悪化	民生委員・社協職員(北海道)	47 (20.3)	168 (72.7)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	13 (20.6)	48 (76.2)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	60 (20.4)	216 (73.5)	18 (6.1)	294 (100.0)
将来の計画を立てない ような生活	民生委員・社協職員(北海道)	57 (24.7)	158 (68.4)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	12 (19.0)	49 (77.8)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	69 (23.5)	207 (70.4)	18 (6.1)	294 (100.0)
教育や学歴の不足	民生委員・社協職員(北海道)	9 (3.9)	206 (89.2)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	10 (15.9)	51 (81.0)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	19 (6.5)	257 (87.4)	18 (6.1)	294 (100.0)
努力や頑張りの不足	民生委員・社協職員(北海道)	67 (29.0)	148 (64.1)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	15 (23.8)	46 (73.0)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	82 (27.9)	194 (66.0)	18 (6.1)	294 (100.0)
子どもが多いこと	民生委員・社協職員(北海道)	2 (0.9)	213 (92.2)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	2 (3.2)	59 (93.7)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	4 (1.4)	272 (92.5)	18 (6.1)	294 (100.0)
外国人の不法滞在	民生委員・社協職員(北海道)	7 (3.0)	208 (90.0)	16 (6.9)	231 (100.0)
	司法書士	5 (7.9)	56 (88.9)	2 (3.2)	63 (100.0)
	合計	12 (4.1)	264 (89.8)	18 (6.1)	294 (100.0)

表5 なぜ人々が「貧困におちいる」のか、あるいは「貧困の中におかれる」のか。もっとも重要だと思う原因を3つだけ選んでください。

(単位：人、%)

質問事項	対象	はい	回答数合計
社会福祉予算等の削減	民生委員(東京・Y地区)	73 (6.0)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	78 (6.7)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	54 (5.0)	1071 (100.0)
	児関係職員	10 (3.9)	256 (100.0)
	合計	215 (5.8)	3710 (100.0)
隣近所の無関心の増加	民生委員(東京・Y地区)	96 (7.9)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	96 (8.2)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	53 (4.9)	1071 (100.0)
	児関係職員	17 (6.6)	256 (100.0)
	合計	262 (7.1)	3710 (100.0)
大きな病気やけがの不運	民生委員(東京・Y地区)	133 (10.9)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	109 (9.3)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	116 (10.8)	1071 (100.0)
	児関係職員	24 (9.4)	256 (100.0)
	合計	382 (10.3)	3710 (100.0)
家族のきずなの弱体化や家族の解体	民生委員(東京・Y地区)	143 (11.8)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	138 (11.8)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	138 (12.9)	1071 (100.0)
	児関係職員	30 (11.7)	256 (100.0)
	合計	449 (12.1)	3710 (100.0)
親の貧困の子どもへの影響	民生委員(東京・Y地区)	89 (7.3)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	74 (6.3)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	95 (8.9)	1071 (100.0)
	児関係職員	27 (10.5)	256 (100.0)
	合計	285 (7.7)	3710 (100.0)
社会の共同精神の欠如	民生委員(東京・Y地区)	72 (5.9)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	90 (7.7)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	58 (5.4)	1071 (100.0)
	児関係職員	14 (5.5)	256 (100.0)
	合計	234 (6.3)	3710 (100.0)
アルコール中毒や薬物乱用	民生委員(東京・Y地区)	58 (4.8)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	60 (5.1)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	52 (4.9)	1071 (100.0)
	児関係職員	12 (4.7)	256 (100.0)
	合計	182 (4.9)	3710 (100.0)
不況による解雇や長期失業	民生委員(東京・Y地区)	229 (18.8)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	222 (19.0)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	203 (19.0)	1071 (100.0)
	児関係職員	57 (22.3)	256 (100.0)
	合計	711 (19.2)	3710 (100.0)
地域社会の衰退や環境悪化	民生委員(東京・Y地区)	95 (7.8)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	95 (8.1)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	89 (8.3)	1071 (100.0)
	児関係職員	20 (7.8)	256 (100.0)
	合計	299 (8.1)	3710 (100.0)
将来の計画を立てないような生活	民生委員(東京・Y地区)	72 (5.9)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	69 (5.9)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	92 (8.6)	1071 (100.0)
	児関係職員	12 (4.7)	256 (100.0)
	合計	245 (6.6)	3710 (100.0)
教育や学歴の不足	民生委員(東京・Y地区)	19 (1.6)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	17 (1.5)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	18 (1.7)	1071 (100.0)
	児関係職員	4 (1.6)	256 (100.0)
	合計	58 (1.6)	3710 (100.0)

質問事項	対象	はい	回答数合計
努力や頑張りの不足	民生委員(東京・Y地区)	99 (8.1)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	78 (6.7)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	75 (7.0)	1071 (100.0)
	児相関係職員	21 (8.2)	256 (100.0)
	合計	273 (7.4)	3710 (100.0)
子どもが多いこと	民生委員(東京・Y地区)	0 (0.0)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	2 (0.2)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	5 (0.5)	1071 (100.0)
	児相関係職員	1 (0.4)	256 (100.0)
	合計	8 (0.2)	3710 (100.0)
外国人の非合法入国・非合法滞在	民生委員(東京・Y地区)	31 (2.5)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	31 (2.7)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	14 (1.3)	1071 (100.0)
	児相関係職員	2 (0.8)	256 (100.0)
	合計	78 (2.1)	3710 (100.0)
その他	民生委員(東京・Y地区)	7 (0.6)	1216 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	8 (0.7)	1167 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	9 (0.8)	1071 (100.0)
	児相関係職員	5 (2.0)	256 (100.0)
	合計	29 (0.8)	3710 (100.0)

表6 なぜ「貧困の中にある人々」「貧困の中におかれる人々」が存在するのか (単位:人、%)

対象	質問事項					合計
	その人たちが不運であり続けたから	その人たちの頑張り不足が足りなかったから	社会にたくさんの不正があるから	経済発展に伴う避けられない現象だから	無回答	
民生委員(東京・Y地区)	35 (8.6)	56 (13.8)	203 (50.0)	95 (23.4)	17 (4.2)	406 (100.0)
民生委員(東京・S地区)	34 (8.7)	68 (17.5)	193 (49.6)	81 (20.8)	13 (3.3)	389 (100.0)
民生委員(東京・T地区)	26 (7.1)	67 (18.3)	167 (45.5)	91 (24.8)	16 (4.4)	367 (100.0)
民生委員・社協職員(北海道)	9 (3.9)	58 (25.1)	108 (46.8)	34 (14.7)	22 (9.5)	231 (100.0)
児相関係職員	6 (6.6)	14 (15.4)	45 (49.5)	20 (22.0)	6 (6.6)	91 (100.0)
司法書士	6 (9.5)	12 (19.0)	32 (50.8)	11 (17.5)	2 (3.2)	63 (100.0)
合計	116 (7.5)	275 (17.8)	748 (48.4)	332 (21.5)	76 (4.9)	1547 (100.0)

表7 最近の日本社会に関して最も近い意見はどれか (単位:人、%)

対象	質問事項			無回答	合計
	裕福な人々はより裕福に、貧困な人々はより貧困になっている	裕福な人々と貧困な人々の生活格差はだんだん少なくなってきた	どちらともいえない		
民生委員(東京・Y地区)	232 (57.1)	71 (17.5)	96 (23.6)	7 (1.7)	406 (100.0)
民生委員(東京・S地区)	200 (51.4)	66 (17.0)	117 (30.1)	6 (1.5)	389 (100.0)
民生委員(東京・T地区)	183 (49.9)	73 (19.9)	104 (28.3)	7 (1.9)	367 (100.0)
民生委員・社協職員(北海道)	121 (52.4)	32 (13.9)	61 (26.4)	17 (7.4)	231 (100.0)
児相関係職員	43 (47.3)	17 (18.7)	26 (28.6)	5 (5.5)	91 (100.0)
司法書士	42 (66.7)	3 (4.8)	15 (23.8)	3 (4.8)	63 (100.0)
合計	821 (53.1)	262 (16.9)	419 (27.1)	45 (2.9)	1547 (100.0)

表8 「貧困から抜け出す」方法として下記の意見はどうか

(単位：人、%)

質問事項	対象	強く思う	思う	多少思う	思わない	わからない	無回答	合計
我慢して節約した生活を送り、人の倍以上働くなど、結局は個人の頑張りなどの努力が「貧困から抜け出す」早道だ	民生委員(東京・Y地区)	39 (9.6)	113 (27.8)	168 (41.4)	64 (15.8)	10 (2.5)	12 (3.0)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	47 (12.1)	110 (28.3)	154 (39.6)	56 (14.4)	14 (3.6)	8 (2.1)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	41 (11.2)	93 (25.3)	151 (41.1)	61 (16.6)	9 (2.5)	12 (3.3)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	37 (16.0)	72 (31.2)	78 (33.8)	21 (9.1)	9 (3.9)	14 (6.1)	231 (100.0)
	児相関係職員	8 (8.8)	22 (24.2)	33 (36.3)	16 (17.6)	7 (7.7)	5 (5.5)	91 (100.0)
	司法書士	5 (7.9)	18 (28.6)	27 (42.9)	8 (12.7)	2 (3.2)	3 (4.8)	63 (100.0)
	合計	177 (11.4)	428 (27.7)	611 (39.5)	226 (14.6)	51 (3.3)	54 (3.5)	1547 (100.0)
もっとやり直しのできる機会を増やすなど政策が採られることが「貧困から抜け出す」ことを促進する	民生委員(東京・Y地区)	55 (13.5)	129 (31.8)	124 (30.5)	72 (17.7)	17 (4.2)	9 (2.2)	406 (100.0)
	民生委員(東京・S地区)	56 (14.4)	104 (26.7)	126 (32.4)	78 (20.1)	13 (3.3)	12 (3.1)	389 (100.0)
	民生委員(東京・T地区)	49 (13.4)	97 (26.4)	122 (33.2)	66 (18.0)	12 (3.3)	21 (5.7)	367 (100.0)
	民生委員・社協職員(北海道)	36 (15.6)	72 (31.2)	60 (26.0)	38 (16.5)	8 (3.5)	17 (7.4)	231 (100.0)
	児相関係職員	15 (16.5)	21 (23.1)	25 (27.5)	18 (19.8)	5 (5.5)	7 (7.7)	91 (100.0)
	司法書士	11 (17.5)	34 (54.0)	10 (15.9)	5 (7.9)	0 (0.0)	3 (4.8)	63 (100.0)
	合計	222 (14.4)	457 (29.5)	467 (30.2)	277 (17.9)	55 (3.6)	69 (4.5)	1547 (100.0)

表9 生活保護制度は必要な人に利用されていると思うか、また自立に向けた効果がある

(単位：人、%)

対象	必要なすべての人に利用されている	必要な人々に利用されていない場合が多い	必要でない人に利用されている	わからない	無回答	合計
民生委員(東京・Y地区)	16 (3.9)	169 (41.6)	75 (18.5)	127 (31.3)	19 (4.7)	406 (100.0)
民生委員(東京・S地区)	10 (2.6)	168 (43.2)	87 (22.4)	110 (28.3)	14 (3.6)	389 (100.0)
民生委員(東京・T地区)	17 (4.6)	128 (34.9)	72 (19.6)	122 (33.2)	28 (7.6)	367 (100.0)
民生委員・社協職員(北海道)	19 (8.2)	92 (39.8)	69 (29.9)	26 (11.3)	25 (10.8)	231 (100.0)
児相関係職員	3 (3.3)	25 (27.5)	40 (44.0)	15 (16.5)	8 (8.8)	91 (100.0)
司法書士	0 (0.0)	38 (60.3)	13 (20.6)	9 (14.3)	3 (4.8)	63 (100.0)
合計	65 (4.2)	620 (40.1)	356 (23.0)	409 (26.4)	97 (6.3)	1547 (100.0)

対象	効果がある	依存精神を助長している	効果と同時に依存精神も両方持っている	わからない	無回答	合計
民生委員(東京・Y地区)	47 (11.6)	10 (2.5)	243 (59.9)	68 (16.7)	38 (9.4)	406 (100.0)
民生委員(東京・S地区)	27 (6.9)	22 (5.7)	231 (59.4)	69 (17.7)	40 (10.3)	389 (100.0)
民生委員(東京・T地区)	38 (10.4)	21 (5.7)	192 (52.3)	76 (20.7)	40 (10.9)	367 (100.0)
民生委員・社協職員(北海道)	10 (4.3)	28 (12.1)	143 (61.9)	17 (7.4)	33 (14.3)	231 (100.0)
児相関係職員	4 (4.4)	9 (9.9)	65 (71.4)	4 (4.4)	9 (9.9)	91 (100.0)
司法書士	3 (4.8)	1 (1.6)	46 (73.0)	5 (7.9)	8 (12.7)	63 (100.0)
合計	129 (8.3)	91 (5.9)	920 (59.5)	239 (15.4)	168 (10.9)	1547 (100.0)

表10-a 性別

(単位：人、%)

対象	男性	女性	無回答	合計
民生委員(東京・Y地区)	63 (15.5)	282 (69.5)	61 (15.0)	406 (100.0)
民生委員(東京・S地区)	72 (18.5)	255 (65.6)	62 (15.9)	389 (100.0)
民生委員(東京・T地区)	103 (28.1)	211 (57.5)	53 (14.4)	367 (100.0)
民生委員・社協職員(北海道)	124 (53.7)	94 (40.7)	13 (5.6)	231 (100.0)
児相関係職員	23 (25.3)	58 (63.7)	10 (11.0)	91 (100.0)
司法書士	49 (77.8)	8 (12.7)	6 (9.5)	63 (100.0)
合計	434 (28.1)	908 (58.7)	205 (13.3)	1547 (100.0)

表10-b 年齢

(単位：人、%)

対象	30歳未満	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	無回答	合計
民生委員(東京・Y地区)*1	0 (0.0)	4 (1.0)	33 (8.1)	203 (50.0)	159 (39.2)	0 (0.0)	7 (1.7)	406 (100.0)
民生委員(東京・S地区)*1	0 (0.0)	1 (0.3)	45 (11.6)	171 (44.0)	169 (43.4)	0 (0.0)	3 (0.8)	389 (100.0)
民生委員(東京・T地区)*1	0 (0.0)	2 (0.5)	34 (9.3)	147 (40.1)	179 (48.8)	0 (0.0)	5 (1.4)	367 (100.0)
民生委員・社協職員(北海道)	22 (9.5)	38 (16.5)	32 (13.9)	36 (15.6)	63 (27.3)	30 (13.0)	10 (4.3)	231 (100.0)
児相関係職員	13 (14.3)	15 (16.5)	20 (22.0)	28 (30.8)	9 (9.9)	4 (4.4)	2 (2.2)	91 (100.0)
司法書士	2 (3.2)	19 (30.2)	19 (30.2)	17 (27.0)	0 (0.0)	3 (4.8)	3 (4.8)	63 (100.0)
合計	37 (2.4)	79 (5.1)	183 (11.8)	602 (38.9)	579 (37.4)	37 (2.4)	30 (1.9)	1547 (100.0)

*1 「30-39歳」に対応する項目は「40歳未満」

1. 「貧困」という言葉を聞いて(見て)、あなたが何かを思い浮かべた場合、それを簡単に記述してください。

- ・スラム街の子どもたち、紛争中のアフリカ。
- ・アフリカの難民。
- ・ストリートチルドレン。
- ・北朝鮮の国民の暮らし。
- ・お金も食べるものも着るものもない生活。
- ・生活がとても貧しくて、服装なども汚らしいイメージ。
- ・日本人の知識や礼儀。
- ・くもの巣 穴が開いた屋根。
- ・他の人の助けが必要な生活。
- ・アフリカ、南米、東南アジア。
- ・飢餓。
- ・北朝鮮の農民。
- ・経済面ではもちろんのこと、夢や希望もなくエネルギーを感じられない状態。
- ・生活に困っている人。
- ・働きたくないから働かないでホームレスになるっていう自由さが貧困じゃないと思う。あとニートも。
- ・つらい。良い言葉じゃない。
- ・食に困っている人。
- ・物質的なものをさして貧困と言っているのか、精神的なものをさしているか、判別されていないが、現代における不幸を貧困と考える。
- ・食べるものがないこと。
- ・食糧難、北朝鮮の農民。
- ・発展途上国の子ども達。
- ・アフリカの子ども。
- ・家も食生活も満足でなく、かつそれに対して不満であると感じている状態。
- ・タタミの部屋に荷物がいっぱい。
- ・最低限の生活にかかる費用が工面できない。例えば、食欲が無い等の理由ではなく1日3回の食事ができない。嗜好品や服はほとんど買えないし、遊ぶお金は無い。
- ・自分は、「貧困な心」、「心が貧しい」といった言葉をよく耳にしたものですが、これはキレイ事を言っているのではなく、ただ当然のことを言っているのだなと思いました。自分は財政的には、困っていませんでしたが、家庭の事で心がすさんでいました。そのことも言えるのではないのでしょうか。
- ・お金がなく、不自由な生活をしている。
- ・貧しい外国の国。
- ・本当の豊かさ。
- ・食べるものがない(食べれない)。
- ・アフリカとか東南アジア。
- ・お金ない人。
- ・発展途上国、ガンジー。
- ・現代人における考え方。
- ・難民、北朝鮮の人。
- ・弱者。
- ・夜逃げ。
- ・自分が満足していない生活。
- ・難民生活。
- ・暗くてさみしい感じがします。
- ・物質的な貧困さがまず頭に浮かぶが、その中でも精神的には豊かである人からは貧困さを感じない。
- ・感受性(自分の)。
- ・他人との関わりがない生活。
- ・ある友人の生活。
- ・お金がなく、自分がやりたいことも出来ない生活。
- ・西欧のスラム。
- ・日本のアジア諸国における態度。
- ・不平等。
- ・教育など「精神的な」部分について。
- ・中国の農村。
- ・飢餓や疫病に苦しむ様子。
- ・経済的な貧困よりも精神的な貧困をイメージした。希望・ゆとり・満たされた心などが希薄になっていると感じる。
- ・老後の生活は年金支給の低下で貧困な生活になるだろうと心配です。
- ・生活保護を受けなくてもいいような人が近くに

- いて普通に生活している人よりも優雅に暮らして、とても不思議です。
- ・パチンコ、スロットマシン等に熱中している人。
- ・一億総中流。
- ・所得額、最低賃金、家計支持者の安定した収入。
- ・日本の政治はなっていない。国民立場に立った政治を。
- ・生活保護世帯の人達は私の見てる範囲では貧しい方とは思いません。かなりぜいたくな生活をしていると思います。車やかなり高いペットなどをかってます。それで貧しいと言えますか。
- ・貧乏だなあ。
- ・争い。
- ・北朝鮮の国民。
- ・「心」の貧困。人間として生きてゆく場合の心のまずしさ。
- ・生活費が不足し、水、ガス、電気等が止められている状態が長い。
- ・貧困とは「貧乏なこと」と解釈している。
- ・人の心。
- ・一家心中や餓死は周囲の注意不足。
- ・ご飯を食べる事がきびしい方（貧しい為）。
- ・隣人との交流や社会との交わりを拒むなど社会性のものであると感じる。
- ・高齢で病弱で年金などの収入も小額で生活している。
- ・山上憶良、貧窮問答歌。
- ・自助努力せず（働かないで）生活が苦しいというのは貧困とはいわないと思う。
- ・3月にスウェーデン大使とお会いし、社会福祉について伺いましたが、スウェーデンに比べて日本の社会福祉の貧困を痛切に感じました。年金制度、老人医療、ホットライン、学生援助。
- ・物のありあまっている現在は、感謝の心がうすれている様に思われます。
- ・精神的貧困、無知の貧困。
- ・何を基準として貧困を考えるのか。現代社会（豊かな社会）と比較して貧困を考えるのは危険があるのでは？
- ・生活資金などが不足している状況で、かつそれ

を悲観する生き方。

- ・他人事を知らなすぎる。
 - ・会社倒産、失業で勤めるところが無い。
 - ・生活保護を受ける前のギリギリの生活。
 - ・マッチ売りの少女、パレスチナ難民。
 - ・物が豊富にある今日、貧困というイメージが浮かんでできませんが、ほしいものを我慢することができないということ、人を思いやる気持ちが無いということのほうが貧困を感じる。
 - ・食べ物に困った時に、海に行っても山に行っても漁業権などがあって自然の恵みを利用できないこと。自律の一助になり得ない事が貧しいと思う。
 - ・「発想が貧困」といった表現。
 - ・食うに困る。衣・食・住に不自由するとき。
 - ・今日、明日、食べる物が無い。将来的な計画を立てた生活ができない（その日暮らし）。
 - ・いわゆるパラサイトで無職、フリーターでありながら脱パラサイト方策を先送りしている連中。
 - ・自分自身ではどうにもならない状況（経済面）の時に社会（行政や周囲の人）に訴えることができなく、新聞に掲載されるような餓死やそれに類似した状況。個人の力量も問題であるが、気づいたり手をさしのべない社会にも問題を感じる。
 - ・現代の若者の精神的貧困。
 - ・人の内面が貧しいこと。
 - ・子どもの時の苦しい生活。
 - ・貧困＝食べる物が無い。衛生面が清潔に保たれていない。
 - ・やせ、物、劣悪環境。
- 2. 現代社会において、なぜ人々が「貧困におちいるのか」(要因)について、設問以外のものがあれば記述してください。**
- ・他人のことだと思い、自分とは無関係と持っている意識。
 - ・お金を借りた場合の利子が高い（国内外問わず）。

- ・貧困でない者が協力しない。
- ・世の中を甘く見てる若者が多いから。
- ・おエライさん方に金回しすぎ。お金はある所からしぼり取れと思います。
- ・国のサービスを知らない人が多いと思う。
- ・確固たる信念、哲学を自身で形成していないから条件としては自分勝手なものでなく万人が正しいと思う哲学。
- ・完璧主義者（親）の増加（過保護も含む）などで、精神面（子）が弱体化してきていると思う。
- ・日本の物価がとても高いため。
- ・能力が足りない人間が多いから。
- ・本気で貧困になりたくないという意志の欠如。
- ・「貧困」であるか、そうでないかは、やはり本人の感じ方次第だと思います。「貧困」だと感じている人は現状をプラスに捉えられないネガティブな思考が主な要因だと思うので、その思考を形成する全ての要因にやはり「貧困」に陥る要因があると思います。
- ・災害、公害。
- ・政治家が私腹を肥やすことばかりして国民のことを考えていないから。
- ・利用できる社会福祉や保障を知らない。
- ・「善良」で「正直」な生き方をしているから少なくとも日本の社会では、悪事を為さないとお金がたまらない様な印象を受けている。
- ・環境（地球レベル）の悪化。
- ・高い税金を変なところで無駄に使いすぎ。
- ・時間がないこと。
- ・経済情勢の悪化。
- ・その人自身のありように伴う。
- ・最低限の生活をできているのに、以前の生活より低いため、貧困と感じる。
- ・政治家がよくない。
- ・戦争。
- ・貧困であっても最低限の生活ができ、生を長らえることくらいはできるから。
- ・精神的な不安によって、ムダ使いなどをする。

3. アンケートで使用した「貧困」という言葉に「違和感」を感じた場合、何か意見がございましたらご記入ください。

- ・貧困という言葉があることからして社会の不平等を感じる。
- ・貧しい国のイメージがあった。
- ・日本での出来事には「貧困」がしっくりこない。
- ・金銭的に貧困という意味と精神的な意味があると思うのですが、「貧困」という言葉自体がわからなくなり、適切なのか？と疑問に思った。
- ・「貧困」として困っている人を助けることに対しての意識をもつことは大事だけど、「貧困な人」と「貧困ではない人」を差別というか、意識しすぎてるように感じた。
- ・どれが貧困かわからなくなった。
- ・よくわかりませんでした。
- ・貧困の意味が広すぎて違和感を感じた。例えば問9の貧困の原因というのは、貧困の理由で変化するもので、総合的に見るのはある程度の方角性があっても無理であると思った。
- ・貧困を意識する上で、裕福の意識も調べないと貧困の意味を解せないと思う。
- ・貧困とは、お金だけが関わるものだと思った。
- ・私が貧困と思っていた言葉とちがう言葉がでてきたから。
- ・戦時中の状況を「貧困」という基準にすると紛争のない日本には「貧困」は無いという論理となり、意味的に変。
- ・現在、自分自身又は自分の周囲は豊かであると思う。そしてその事が当たり前すぎて、豊かである事に気が付かない。「貧困」については、頭にものぼらないくらい。そのくらい、「貧困」については考えにくい環境にいると思う。
- ・「貧困」は、貧しくて困るということを連想するが、アルコール中毒等に自分からなって働けなくなり、勝手に貧しくなった人々も私は見たことがある。生来の貧しくて困っている人と、自分から貧しくなった人を言葉の意味でも個々としても分離してほしいと思う。

- ・「貧困」というものが、心の中の貧しさを含んでいるのか、金だけなのか良く分からなかった。金だけなら「貧乏」という表現でも良い感じがする。
- ・貧困という言葉は、私にとっては、食べ物が無いなどの生活すること（生きること）が難しいというレベルのもので、生活を豊かに出来ないというものではないと思います。そして周囲もそのような状況の人を救うことが出来ない（周囲も貧困）ことが、貧困だと思います。
- ・お金がない人や仕事のない人々をすべて貧困ととらえずに貧困と言えるのは、どんな状態の時であるかを深く考えるべきである。
- ・貧困と聞くと、物質的に明日食べる物もないような状態のように感じていましたが、精神的な貧しさも貧困として考えられているという事に気づかされました。
- ・実際にどう考えていいかわからない。イメージでしか考えられない。
- ・自分で「貧困」だと感じるのは、人それぞれであって、そう思う基準がわからないから答えが微妙に難しかった。
- ・本当の貧困とは、どうゆうことを示しているのか気になった。
- ・精神面にまで関わってくる「貧困」と、家計や生活にかかわる「貧困」とが一つにくくられているのは、どうなんだろうと思いました。
- ・経済的なこと以外（精神的）にも貧困という言葉を使うのか、わからなかった。
- ・抽象的で定義の難しい言葉だと感じた。
- ・貧しいのと貧困は違う気がするが、その違いをはっきりと理解していないのでアンケートに正しく答えられたかわからない。ただ、私的な考えを述べると日本には現在、貧しい人はいても貧困である人はほとんどいないと思う。貧困とは、国や地域単位での貧しさや個人の努力にかかわらず、さける事のできない貧しさの事だと思う。
- ・日本に「貧困」というイメージはない。どこか遠い外国で起きているイメージ。
- ・私にとって「貧困」とは、発展途上国などのご飯も満足に食べられない子どもたちのイメージが強いので、私達の（日本の）生活は「貧困」のイメージと少しずれていたため。
- ・「貧困」という言葉は、自分が思っているよりも広い意味があるのかもしれないと思った。
- ・「貧困」とはどのようなものをさすのか、わからなくなった。
- ・違和感というか、貧困だと思う人が周りにいないのであまりイメージがわかなかった。ぼんやりしたイメージ（食べる物に毎日困っている感じ）で質問に答えてしまった。
- ・アンケートに答えれば答えるほど「貧困」の意味がわからなくなっていった。
- ・貧困している人がどういう人なのか分からない。貧困である人はあまり努力してないイメージがあるから。
- ・やはり、少しでも人々が平等に暮らせたらいいなと思います。
- ・経済的な貧困をすぐに頭に思い浮かべるか、それだけでなく、精神的な貧困もあると考えていた。
- ・日本の生活の中で貧困といわれてもパッとこない。途上国など国中が貧しい所をイメージする。
- ・現在の日本ではまだ貧困という言葉はあてはまらないと思う。
- ・貧困という言葉が広すぎてイメージしづらかった。生活保護がどうい生活かわからなかった。
- ・社会や地域とつながりがなかったら、貧困につながるのかがよくわからない。
- ・生活とかに対するものだけが、「貧困」ではないと思った。
- ・「貧困」という言葉がわからなくなってきた。
- ・多くの情報が氾濫しているので、どれが正しいのか見極める能力が必要。
- ・あんまり良い言葉じゃないから。
- ・普段は使わない言葉なので違和感を感じました。
- ・貧乏ならイメージしやすいが、貧困は重い感じのイメージで、TVで観た想像を絶するよう

なものばかりだった。自分に親近感と言ったらおかしいが、あまり使わない言葉でもあるので、違和感を感じました。差別用語みたいで、

- ・何ををもって貧困とするのか明確なボーダーラインとは…。
- ・貧困というより、不幸だと思うから。
- ・貧困のない社会、又は貧困を減らす社会を作る時に宗教団体がどう関与してくるのか、あまり想像がつかないです。
- ・抽象的。
- ・経済面についてが多すぎる気がした。
- ・「貧困」の事実について自分自身が無知すぎて、このアンケートに戸惑いを感じた。
- ・「貧困」という言葉にさげすみや差別する基準にするような境界線をつくるアンケートのように思えた。
- ・「貧困」というのは、難しい言葉だと思う。経済的な面だけで見れば、現代日本にもたくさんの貧困が存在すると思う。しかし、精神的に貧しくない人、望んで経済的に恵まれているとはいえない状態の人まで含めてよいものだろうか？「貧困」の定義をはっきりさせてほしい。
- ・もう少し、精神的な貧困という観点について問う必要はありませんか？
- ・「貧困」であるかどうかは、他者が決定するものではなく、当事者本人の感じ次第だと思う。自分は途上国などの光景に「貧困」のイメージを持つ事はやはりあるが、その人達が「充実している」と思えば、それは「貧困」では無いだろう。なので、自分以外に対しての「貧困」という言葉はやはり答えられないというか、違和感を感じる。
- ・貧困とは、色々な意味合いでの貧困がありますが、これは金銭的な貧困なのか、精神的貧困なのかかわからず、質問に迷うものがありました。
- ・最低限の生活保障はされる国だと思うから、生保＝貧困という認識がないから。
- ・アンケート上で使用された「貧困」という言葉の意味について、解釈に偏りを感じました。広い意味で使用されている様ですが、設問によっ

て意味合いが違って感じられるので、回答に困りました。

- ・自分が考える貧困とアンケート内の貧困にとらえる意味の違いを感じた。
- ・貧しいと貧困では少し違いがあるように感じ、現代の日本は貧困ではないから、それに当てはめるような質問が変な感じがした。
- ・精神的な見方と、経済的な見方、どちらから質問に答えれば良いのかよくわからなかった。
- ・貧困という言葉に固定した定義がなければ、意味合いを定めることができないので、曖昧にしか答えることができないと改めて感じた。
- ・「問」と「貧困」が必ずしも一致せず、「貧」か「困」だけならば、合致するものが多々あった。
- ・物質的（金銭的）に貧困であっても、精神的には、そう思わない人はいる。また、その逆も然りである。その事を混同しているのではないかと、アンケートを解答しながら感じた。
- ・貧困という言葉一つで済まされず、もっと細かくしたほうが、誤解を招かないと思う。
- ・現代日本において縁遠い様な印象を持っていたが、そこまで遠いものではないのかもしれないと感じた。「貧困」とは、生活をしていく上での苦勞と思っていたが、精神面、他との関わりも含まれるものなのかと思った。一般的に知られている言葉だけど、定義が難しいと思った。
- ・貧困という言葉自体に「差別」を感じます。貧困というのはお金がないというだけでなく、心の貧しさもあると思います。貧しい貧しくないというのは周りがどうこう言うべきでないと思う。
- ・日本の社会はあまり貧困だと思わない。
- ・聞いてあまり良い感じはしない。
- ・もし貧困の人がこんなアンケートを見たら、すぐくつらいと思う。アンケートをとってどう変わるのかわからない。
- ・貧困とはお金がないというイメージだったから。
- ・時に貧困という言葉は差別用語になってしまうのではないかと思った。

- ・金銭的なものを指すのか、精神的なものを指すのか区別が曖昧である気がした。
- ・ある限定された回答から選択しなければならないのには、不便な問題だと思います。本当なら全部「個人個人の場合による」ような気がしました。
- ・多少なりとも偏見を伴う気がする。
- ・自分でも、これが貧困だという考えが曖昧になっていた。普段、あまり使用しない言葉であった。
- ・何を言っても貧困なのか？そして貧困とは何か、考えれば考えるほどわからなくなる。
- ・何故、外国人の不法滞在者も含まれるのか？不法に滞在している訳だから、その人達自身の問題であり、国が保護すべきではないと思う。外国人であっても不法でない人は保護すべきだと思うが…。
- ・人間がいるから貧困です。
- ・日本を貧困と思えない。
- ・「貧困」という言葉の意味が曖昧なため。
- ・貧困という差別用語。
- ・貧困とは具体的にどういうものなのか疑問を持ちました。
- ・金銭面での貧しさなのか、精神面での貧しさなのかよくわからなかった。ややこしいと思う。
- ・普段は「貧しい」という単語においては、「貧乏」をよく使うので「貧困」はあまり使わない。
- ・貧困という意味がわからなくなった。
- ・不公平だと思う。金持ちの子どもは金持ちになるように育てられる場合もあることはあると思う。貧困の人は子どもを金持ちになるように育てたくとも、教育するお金がない。
- ・経済的に貧困か精神的に貧困か、どちらの不足が貧困か。
- ・精神的な意味でも「貧困」と使っているのがおかしい気がした。
- ・我々日本人は裕福に育てられていると思うので、「貧困」について聞かれても経験していないのだからわからないと思う。
- ・はっきりとイメージがつかめなかった。
- ・貧困とは、今の生活とかけ離れているし、人それぞれの範囲というものがあるので一般的な回答ができたかどうか不安だ。
- ・貧困というほど悲惨ではない気がするから。
- ・心の問題も大きいと思います。
- ・貧困の境目はどこかと考えた。
- ・どのような状態で「貧困」と決めるのか？だれが「貧困」だと決めるのか？
- ・貧しいと貧困とのちがひ。
- ・私は貧困というと金銭的なこととしか考えていなかったのので、精神的なことに関する貧困もあるのかなあと感じた。
- ・明らかに多様な意味合いで使われていた。
- ・貧困の基準はどの社会を相手にするかで変わると思います。例えば私の生活は日本においては貧しくて世界においては裕福です。
- ・貧困というと経済的貧しさを連想したから。
- ・何の意味での貧困なのか。
- ・食べるものがなく生活に苦しんでいる人が「貧困」だと思っていたが、それ以外の「貧困」も存在しそうな気がした。
- ・「貧困」と「貧乏」は違うのか疑問に思った。
- ・教養に関する質問が少なすぎる。
- ・貧困とはそもそも何なのか、どういう意味をもつかわからなくなった。
- ・この質問の内容が不快。
- ・経済的に「貧しい」というのと「貧困」は違うような気がする。
- ・周りと比べれば自分は貧しい方だと思うが、困っているわけではない。
- ・清貧の思想の考え方に貧困という語を当てるのはおかしいと思った。あと、精神的な方面における意味と考えることもできるが、一般的な意味は金銭的なものであると思う。
- ・精神的貧しさを連想させる言葉だと思います。
- ・今現在生きてきて使ったことがなく、歴史の教科書などでしか見たことがないので。
- ・「貧困」は何をもってそう言うのか、定義がイマイチ分からなかった。今日は「貧しくて困っている」として考えてみた。

- ・貧困にある人々と言われると、落ち目を感じる。
 - ・精神的なものも含めるのですか？
 - ・どういうことが貧困なのかということが分からなくなった。
 - ・日本でお金がないときは貧乏、外国の貧しい人たちには貧困と使う気がする。
 - ・精神的な貧困さと物質的な貧困さは同列に並べていいのでしょうか。
 - ・私の中では「貧しさ」と「貧困」は別のイメージがあるようで（実際は同じでしょうけど）貧困は途上国の貧しさというイメージがあったため、そうなのだと思う。
 - ・貧困の定義が曖昧。
 - ・個人が「貧困」ではなく、もはや日本が「貧困」であると思った。
 - ・質問に少数だが、「貧困」の意味を広げすぎに感じるものがあった。確かに精神面での貧しさという言葉はあるし、私も思い浮かべたが、質問する時（特に選択形式のアンケート）は「生活面での貧困」なのか「精神面での貧困」なのか、命題をしぼってもらえたほうが、こちらも質問に答えやすくなります。
 - ・貧困という言葉はもっと難民とかもっと貧しい人に使われるべきではないか。
 - ・精神的の空虚さなどの貧困というのは、ただ一言「貧困」と言う際には第一の意味としては出てこない気がしました。
 - ・貧困という言葉の持つ様々な側面を無視して使用しているところに違和感。
 - ・現代の日本に貧困という言葉は不似合な気がします。貧困は明日にも死にそうな状態を指しているように感じられるため、ホームレスや生活保護世帯においては、貧困より貧窮や困窮のような言葉のほうがしっくりときます。貧困という言葉は、生死がかかっているようなイメージがあるため、途上国や戦後の日本のように思われます。貧窮なら、別の回答をしたと思います。
 - ・経済的貧困と精神的貧困がまざっていて、貧困のはっきりした定義がなかったから、答えるときに戸惑った。質問によって定義をかえて答え
- てしまった。
 - ・「貧困」という言葉が曖昧で、例えば「路上生活歴10年の山田さんの日常は、貧困と思えるか？」という質問なら答えられるが、文脈がない（本人がイメージできない）場合は、全く答え様がない。
 - ・単に金銭のある無しが貧困を規定できないと感じた。
 - ・日本語の「貧困」という言葉には、非常に限定された意味しか持たないように思うから。
 - ・貧困という言葉に、①経済的 ②精神的意味が含まれている気がして、多少混乱した。
 - ・一般に貧困という言葉を使う時、単に経済的な問題だけではなく精神的な問題も含まれているのかということ。
 - ・一般で使われる「貧困」という言葉と、本当の「貧困」が示す意味はずれている気がした。
 - ・どんな種類のことを貧困というのかがよくわからなくて違和感を感じた。お金に関する「貧困」というイメージがあったので。
 - ・初めから「現代日本において」か「世界基準で」とか考慮基準を設けてほしい。
 - ・「貧困」という言葉に精神的な貧しさが含まれていると感じました。私自身は物質的・金銭的な意味でのみ捉えることにして回答したつもりです。
 - ・国単位で考えた時、これ程モノがあふれ、豊かになっているはずなのに、国が多額な借金をしていたり、人々の価値観の多様化によって、「貧困」の定義がそう単純にできるものではないと感じた。
 - ・どのように定義してよいかわからなかった。
 - ・「貧困」は定義するのが難しい。
 - ・貧困という言葉の意味が曖昧だから。
 - ・貧困というものがなかなか頭の中で国内のものと結びつかない。
 - ・「貧困」という言葉に多様な意味があることに途中で気付いた。初めは金銭面や物質的な貧困しか念頭になかった。
 - ・貧富の差の広がり。

- ・貧困がどこまでをカバーしたものなのか疑問に感じた。
- ・今の世の中で貧困という言葉自体時代に合わない。
- ・なぜ貧困という言葉を使っているのかわからない。
- ・外国でよく貧困と言う事でテレビ画面から見られるような事を日本では見る事がないので。
- ・現代の日本で貧困という言葉は、どちらかという心の問題のようにとらえていました。しかしここ数年の不景気でいつ私達がそうなるといいうことも否定できません。
- ・政治家がもっと国民の幸せを考えるべき。自分を中心にした政治家はクビ。
- ・現在よく使われない語にあえて調査に乗り出した意義に感銘を受けました。この結果がどのようにかまとめられ、その後の国民生活に影響を与えるものになることを期待しています。
- ・大学を卒業したものがいるという質問に関して「貧困＝大学にいけない」ということはない！
- ・これからの子ども達の未来を思うとなんとなく。
- ・日本の貧困は言葉だけであって本当の意味での貧困とは違う感じがする。
- ・自分自身の努力しだいで生活を変えることは不能だと考えられると思う。
- ・逆に日本は裕福すぎて考え方が貧困になっていってしまったのかもしれない。
- ・戦前生まれの私には、全部の人ではないまでも社会に甘えている努力の足りない人が多い。
- ・日本の政治がおかしい。
- ・国民年金が安すぎる。
- ・今の政治は各種税金、医療費の値段など負担ばかり押しつけ、年金は減るばかりで保証もない。
- ・神仏に対する感謝の気持ちを持ったら心豊かになれると思う。
- ・現代皆ギリギリのところでは生活していると思う。家族が平和で健康でいるうちはなんとか持ちこたえているものの、誰かが事故や病気などにあつた場合すぐに生活が苦しくなってしまう

危機感はいつでもある。少し頑張れば子どもの教育も生活も皆と同じくしてあげられると思つて無理を重ねている感じがする。またその人の人権が何かの型で押し込められているのも貧困に思う。

- ・いつもお金のない生活だから貧乏からぬけてみたいですね。
- ・人の人権の差を感じました。
- ・貧困という言葉自体をどのようにとらえるか調べたかったのかもしれないが、定義をせずに意見をというのははなはだ無理があると思う。金がないのも、夢がないのも、人間関係がないのも、この先の命がないのも…etc すべて貧困です。広すぎると思いますよ。あるいみ「あなたが“ありがたい”と思うのはどんな時ですか」という感じ程度のことしかならないアンケートです。
- ・憲法の精神を真剣に国民全体が考え（特に国の指導者達）、真の平等で文化的生活が送れる国家の構築を望む。
- ・経済的にも精神的にもあると思うので、どちらなのか日本の国会議員の「貧困な考え方、行動」もっと取り上げて、日本社会を根本から考え直すよう働きかけてほしい。
- ・女一人で60才近くになって働くところもあまりなく収入がない生活です。町職員の天下りはなくすべきです。
- ・貧困は幅広いもの。経済的、文化的、精神的などある。また、それぞれの組み合わせで変わることもあることを考えてほしい。
- ・貧困とは外部の戦争や自然の災害などで全てを失うことが、精神的にダメージを受けやる気をなくしてしまうことなど。
- ・貧困とはの基準はその国の生活水準の違いにあると思う。他国を比較し、日本の水準は貧困に当たるのか、平均か、上流なのか？それは当人の幸福感にあると思う。私から見て貧困でも当人の満足感、至福感によるものが多大であると思う。アンケートの設問だけでの判断はデータとしては認めるが、本質には多分に不足す

る物があると思う。

- ・貧困という定義はないと思います。個々人それぞれが判断すること。「人生いろいろ、会社もいろいろ、社会もいろいろ」だっていいと言う人もいますよね。北大が研究にするテーマとしてふさわしいのか…。貧困観から生活保護に目を向けさせ、それが悪であるような誘導が感じられます。
- ・「貧困」という言葉で「貧困」にあたる人を差別している気がする。
- ・普段は貧乏と聞くが貧困はあまり使わないので。
- ・現在の社会には本当の貧困といわれる人はほとんどいないと思う。福祉制度の充実によりそれに甘えてグータラになっている人が多くいる。
- ・これが貧困だと枠にはめるのは難しい。人からみて貧困と思えるだろう生活でも、その人にとっては心が豊かでみたされる生活もあるかもしれない。しかし、今は心が豊かであるということ自分をふりかえりながら生活していきたいと思います。
- ・貧困の度合いは本人の考え方しだい。他から見て貧困と判断するのはおかしい。
- ・何人も好んで困窮に成りたくて、日常を生活している訳ではありません。むしろ今世に生を受けてから、死まで精一杯幸福という文字に向かって前進して生活を営みしております。でも、今の社会には、個人の頑張りや努力しても必ずしもむくわれるとは思いません。今の社会は弱肉強食そのものだと思います。もうすこし思いやる気持ちで一国民の生活を思いやる政策を考えて頂きたいと思う。
- ・現実に自分で感じる事がなかったので。
- ・若者。職についていない。我慢、努力がない。
- ・普段あまり聞かなくなっていた言葉でした。比較的生活に困ることがない自分の暮らしに家族に感謝したいです。

4. アンケートに関連して、何か考えたことがありましたら記述してください。

- ・自分の中で「貧困」の規定がかなりあいまいだった。
- ・自分の視野のせまさを感じる。「努力不足」ということを常に思っている。
- ・なぜこの様なアンケートなのかかわからない。
- ・日本は成人と同時に個人の責任に任せられるが、きちんと生活できない大人が多くいると思う。金銭的なアドバイスも含め、成人への生活指導（機関や人）が必要だと思います。
- ・今までにない具体的（生活に密着した）なアンケートであったと思います。
- ・貧困という言葉が久しく聞いたり見たりすることが無かったと思う。
- ・精神的な貧困と金銭的な貧困をどう見分けるのか。どうとらえるべきなのかわからなくなる場合がある。
- ・貧困とは物量だけを表すものではないと思う。精神的な部分も含まれ、個人主義の現代人が貧困の中にいて、自覚していないのではないかと？ 家族、地域、社会などにおいて、どこかおかしい状況になっている。わがままではない。自分勝手が多く、自分だけなどの甘い考えかたがあるだろう。
- ・アンケートでの集約も大切ですが、どこかの社協をモデルとし1年なりを単位として調査すると机上と現実のギャップが埋まると思います。
- ・貧困とは経済的、精神的にも影響されるとは思うが、その程度は個人の考え方、受け止め方にも大きく左右されるのではないかと。ただ、経済的貧困によって精神的貧困に陥らぬようになりたいが。
- ・高齢者ほど自立心で我慢をしていると思う。若い者ほど自立心が無い、もっと我慢してほしい。
- ・努力をせずに人に頼るのは考えてほしい。健康にも色々あると思うが戦争の大変さを今の若者は考えていない。もっと昔のことを伝えていき

- たいと思う。
- ・今のこの国の民に貧困を聞いても無駄なのでは？
 - ・個人の価値観の差があると思います。
 - ・こんな立派な資料を多く配布していただいて、もったいないと思いました。
 - ・貧困感を持つのは心が貧しいのではないか、現状に感謝できたら貧困感が生じないのでは。無宗教教育の結果か。
 - ・近くに生活保護を受けている女性、65歳の人で健康でいて毎日パチンコをしています。ご主人は別なところにて夜だけ帰り朝昼夜と食事します。すばらしい車に乗ってくる。もう少し調査をして保護を受けるようにしてくださいね。今の65歳は働くことができます。
 - ・大幅に（年代層）貧困のイメージが異なり会話での格差を業務の中で日々感じる。
 - ・生活保護を利用している人が見受けられる。若い人の離婚受給者が多い。もっと厳しくしてほしい。
 - ・家族崩壊。
 - ・貧困は金銭のことだけではなく、精神的なものを含んでいるのだと思います。
 - ・本当に困っている人よりも、うまく利用しようとする人が増えてきている気がします。本当に困っている人はなかなか相談に来ない。
 - ・もう少しゆっくりとした時間の中でじっくりと考えて回答したい内容だった。（休憩含む15分間では短い）
 - ・問9 a) について「必要な人々に利用されていない場合がすこしある 必要でない人に利用されていると思われるケースがある。」と思います。
 - ・生活保護の見直し、必要な部分に援助できればよいと思う。
 - ・貧困を大極的にとらえると日本の国の方向をうれうることになりますし、現実是目前の貧しい人々の明日の課題を解決する必要が迫りますし…医療も福祉もすべて予防的な施策の実行を切に望みます。
 - ・20年前に心臓疾患手術により障害者3級となっている現職教員。この厳しい世の中にあつて種に（例 医療費免除など）軽減あり。公務員であること、20年も前の疾患であることなどに。（高所得者）こういった点も自己申告でこれからは身障者扱いでよいのかと。意見が多々あることを考えてください。医療費とは？すべてのこととせず内科、外科、…その根となる医療費のみを認めるなどなど一考を！
 - ・十分意を尽くした回答が集約されるとは思いません。設問をもっと吟味させるべきと思います。
 - ・現状では貧富の格差は是正されない。
 - ・もう少し時間がほしいと思った。
 - ・欄外にその都度書きましたが、アンケートのねらいと設問に合致しないと思われる点があった。
 - ・わが国は貧困な家庭から抜け出すことが困難な国だからだと思う。
 - ・自分のイメージは金銭的に偏っていると感じた。
 - ・貧困という言葉について金銭面で使用するのではなく、気持ちの部分に関わる時に使用するべきと思う。
 - ・生活保護制度は効果と同時に依存精神も両方持っている制度…とあるが、たしかに、例があります。（年若く病気との事で病気が治ってもどっぷり制度につかっているのが見受けられる）働く意思が無い。
 - ・日本経済においては、経済界、政界における優遇処置がより見直されるべきであり、すべてにおいて個の変革を考えた地方分権の変革が必要。経済面からのみ政策変更偏っている。
 - ・世界の貧困から見て日本は貧困だと思わない。ただ道徳的生活から見ると日本もだんだん心の貧困に見えてきている。
 - ・回答の内容にはもっと複雑なものがある。
 - ・特定宗教の指導による受給者が多く見られ心の貧しさ不平等感がある。
 - ・貧困は本当に他人的な考えのもので生活保護世帯にもかなり豊かに暮らしている人がいるのも

事実です。また、一度受けるとその後の生活が変わっても働く意志がなくなりそのまま保護を受けている状態です。

- 解答をすすめていく上で、自己矛盾を感じたり適当な選択肢が見つげにくいなど、どちらかというとな不安な気持ちになる内容だと思う。
- こうした調査（ないし、問題設定の仕方）にどんな意味があるのか、今ひとつ分かりません。「貧困」という設定の仕方が現実を反映していないように思われるからです。設問ないし回答も無理に当てはめなければならない感じです。
- 「貧困」という言葉を経済的な面で見るとか？それとも精神的な面で見るとか？アンケートしながら思いました。私の周囲には、自らの選択（金融会社からの借金）で経済的貧困になる人と障害（ほとんどが知的な）により、適切な判断ができず、貧困になるケースがあります。後者の場合、何とかフォローしようと支援しますが、一人の力ではどうすることもできず、社会資源も充分でないと感ずることがあります。（後見人制度等は活用しにくい制度だと思う）
- 町の傾向（離婚→母子家庭→経済的不安→生保申請→仕事意欲の低下→生保持続）は若年世代が多い（25～35才位の方）。しかし雇用できる職場環境も乏しい。
- 貧困は全ての根源となる大きな問題だと思います。世界銀行でさえ、貧困の解消を第一に解決すべき問題とあげています。国内をみても貧富の格差は大きくなっていると思います。
- 生保について、本当に必要としている人も多いい中、他人の名義をかりて車を購入している人や、ブランド品の洋服を着ている人等、他町での話も耳に入ります。近所の人のお話等も聞く必要もあるのではないのでしょうか？また、保育園、幼稚園の父母等にも講演を聞かせる必要があると思います。
- 貧困の中身についての細かい分析（a. 体の貧困 b. 心の貧困 c. 生活の貧困等）。
- 日本人＝貧困には今の時代、結びつかないなと思う。ごく限られた人ではないか？むしろ、アフリカなど、自力ではどうすることもできない人達こそ貧困ととらえます。生保も次々子どもをつくってお金をたくさんもらおうとする人がいて、不公平だと思う人がいます。
- 生活保護受給について、強い人（暴力団員）には弱くて窓口で通るが、障害者など本当に必要な人への力が不足しているようで、窓口を通らない人がホームレスになっているケース（死に至る人もいる）が多いようです。調べて見てください。
- 精神的な貧困こそが、その人にとって最もみじめな状態であると思います。経済的貧困にはどうしてもさけられないものもあるでしょうが、その人自身の不摂生等によって起りうる場合もあると思う。
- 生活保護を受けている人は結構良い生活をしている人がいるため、もう少し生活を確認すべきだと思います。貧困は、就職難、会社倒産等、色々な社会生活が乱れてきた事などが原因だと思います。
- 私も育児する段階で子どもにかなり手をあげました。ふと虐待なのかな？だけど、子どもを大切に思う気持ちと家族との不和から逆切れすることもありました。我が子は今では、やさしい子どもです。
- ものが豊かになりすぎて心が貧しくなったと思います。また便利になりすぎて、人に頼る、相談する、協力するという気持ちがなくなり、ますます人とのつながりがなくなり、生きていく上で、貧しい人生を過ごしているように感じています。今の子ども達は、それがあたりまえと思い、「貧しい」とさえ思う感覚がなくなるのではないかと危惧しています。
- 日本では今は様々な社会資源が整っており、それらを利用すれば本当の貧困になる事は無いはず。自らドロップアウトする人は増えていると思います。
- 学歴のための教育ではなく、人としての生き方を学びと生きる喜びを体感できる教育を考える事が重要だと思います。ただ、勉強ができなく

でも楽しければ良いという考えにも疑問をもっています。生きる技術として最低限必要な学力もあると思います。貧困をなくすために本当に必要な教育を考え、発信していかなければと考えます。幼稚園に勤務していますが、子どもにも保護者にも生命の尊さを訴える人権教育を少

し取り入れています。貧困は精神的な強さを育てることで解決できるのではないのでしょうか。

- 不況であえいでるばすなのに、なんで日本は豊かな国だということになるんでしょうかね？

(北海道大学教育学研究科・教授)